

平成19年3月期 決算説明会



平成19年5月8日
ソフトバンク株式会社

**ボードフォン買収は
成功だったのか？**

Yes !

買収前の懸念

 資金は？

**1.45兆円のリファイナンス
を完了**

 収益性は？

営業利益 前年の約1.8倍
(ソフトバンクモバイル(株)連結)

 ユーザーは？

年間純増数 前年の約4倍

 ブランド力は？

CM好感度総合No.1

H19年3月期 連結業績（年度）

H19年3月期連結業績サマリー（年度）

 SoftBank

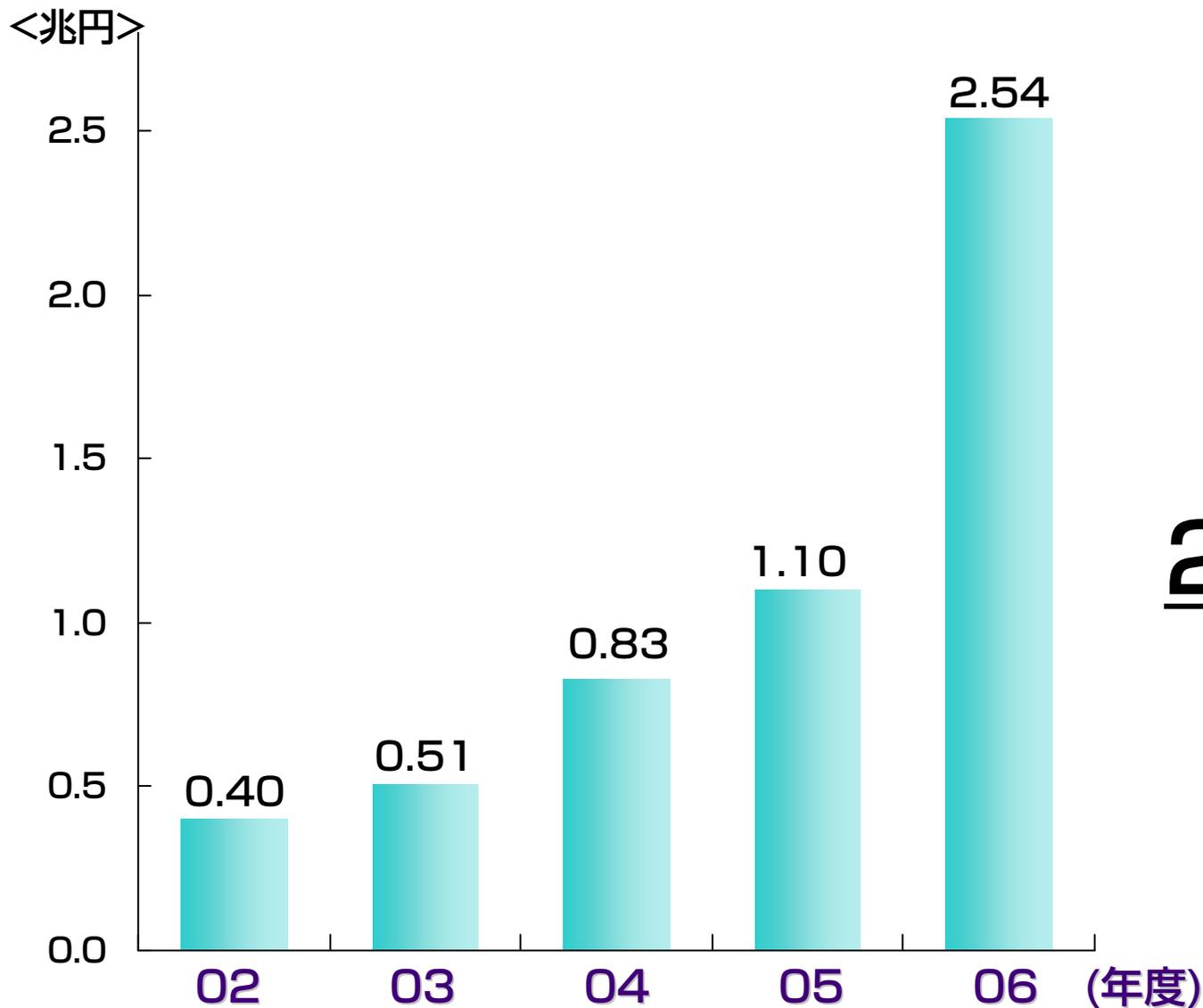
<単位：億円>

	<FY06 年度ベース>		前期比増減
	FY06 (06年4月～07年3月)	FY05 (05年4月～06年3月)	
売上高	25,442	11,086	+14,355
EBITDA	5,254	1,499	+3,755
営業利益	2,710	622	+2,087
経常利益	1,534	274	+1,259
税金等調整前 当期純利益	2,085	1,294	+790
当期純利益	288	575	△287

※ソフトバンクモバイル（旧ボーダフォン）業績は2006年5月1日から連結

連結売上高(年度)

SoftBank
<単位：兆円>



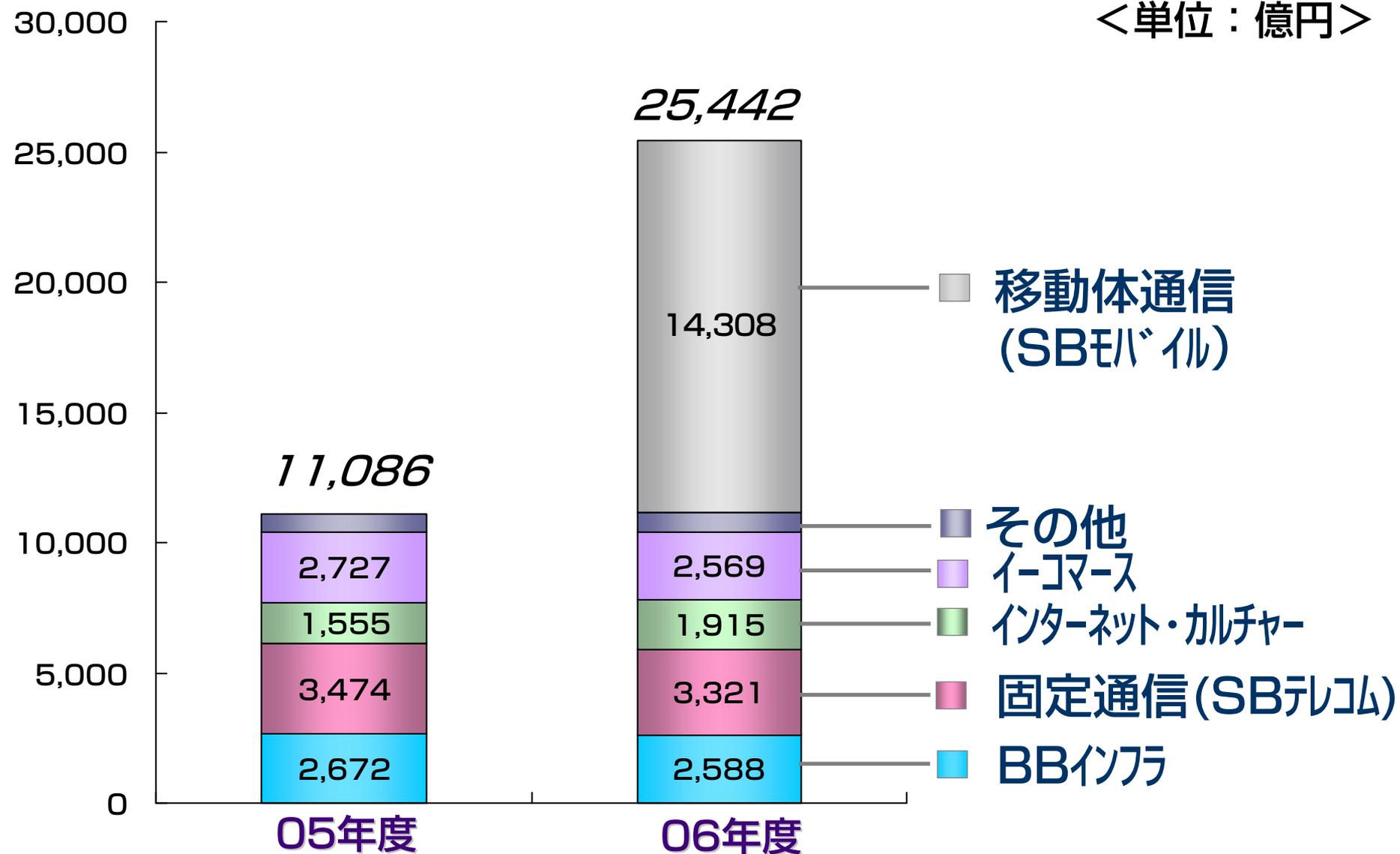
06年度
2.5兆円

前年同期比
+1.4兆円

セグメント別連結売上高(年度)

SoftBank

<単位：億円>

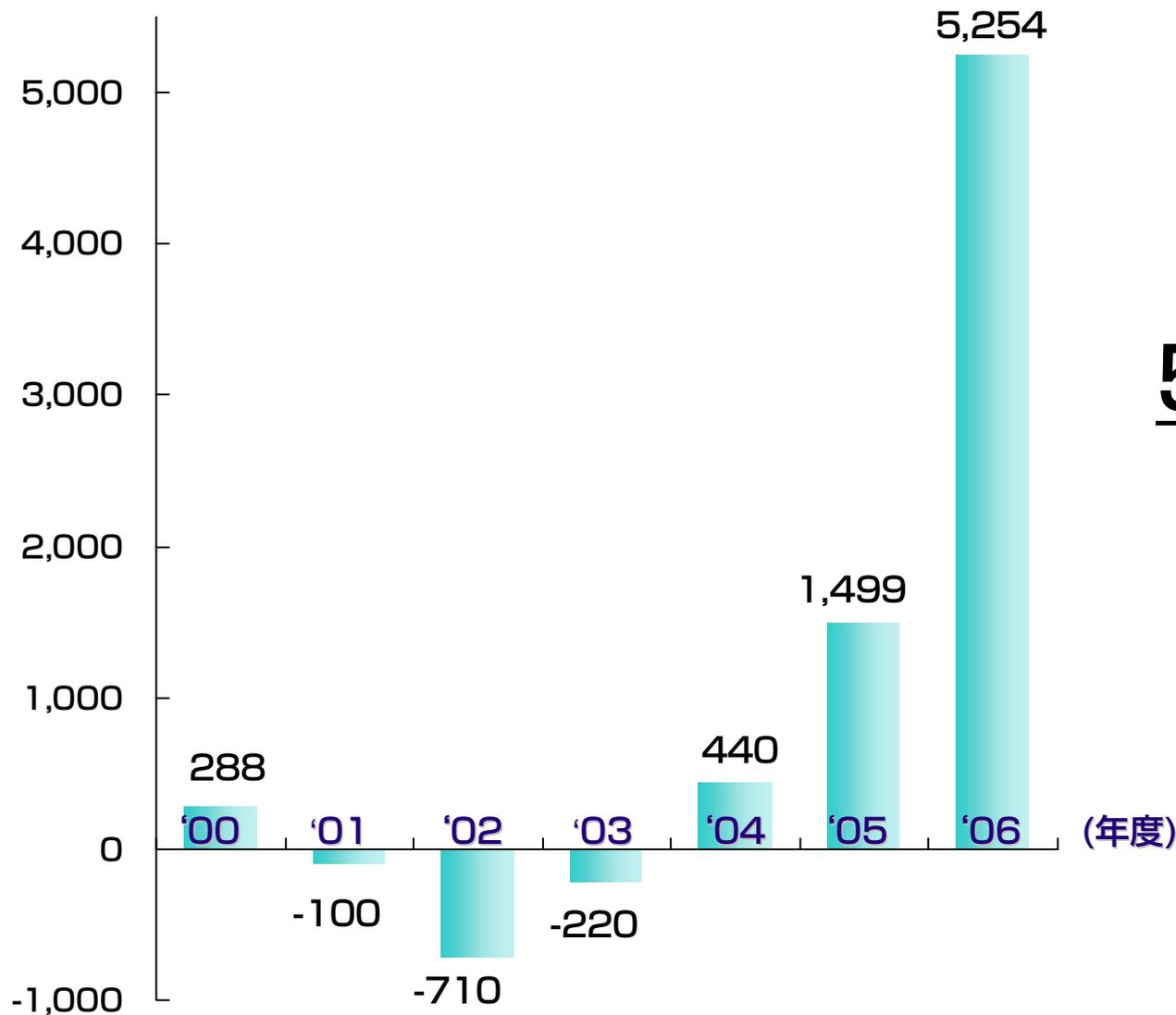


※ソフトバンクモバイル(旧ボーダフォン)業績は2006年5月1日から連結

連結EBITDA(年度)

SoftBank

<単位：億円>



06年度
5,254億円

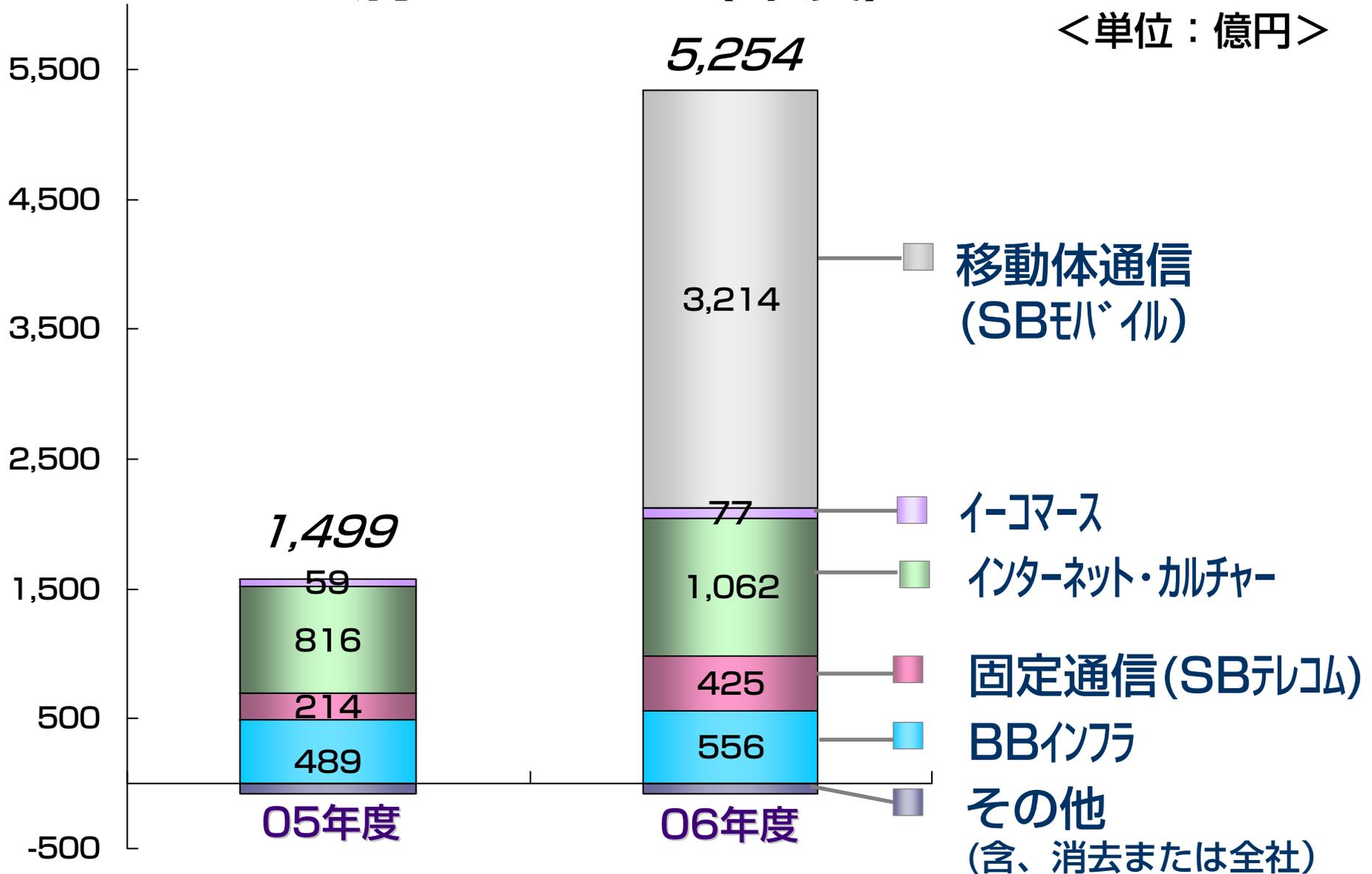
前年同期比
+3,755億円
(3.5倍)

(EBITDA：営業損益+営業費用に含まれる減価償却費および固定資産除却損)

セグメント別EBITDA（年度）

SoftBank

<単位：億円>

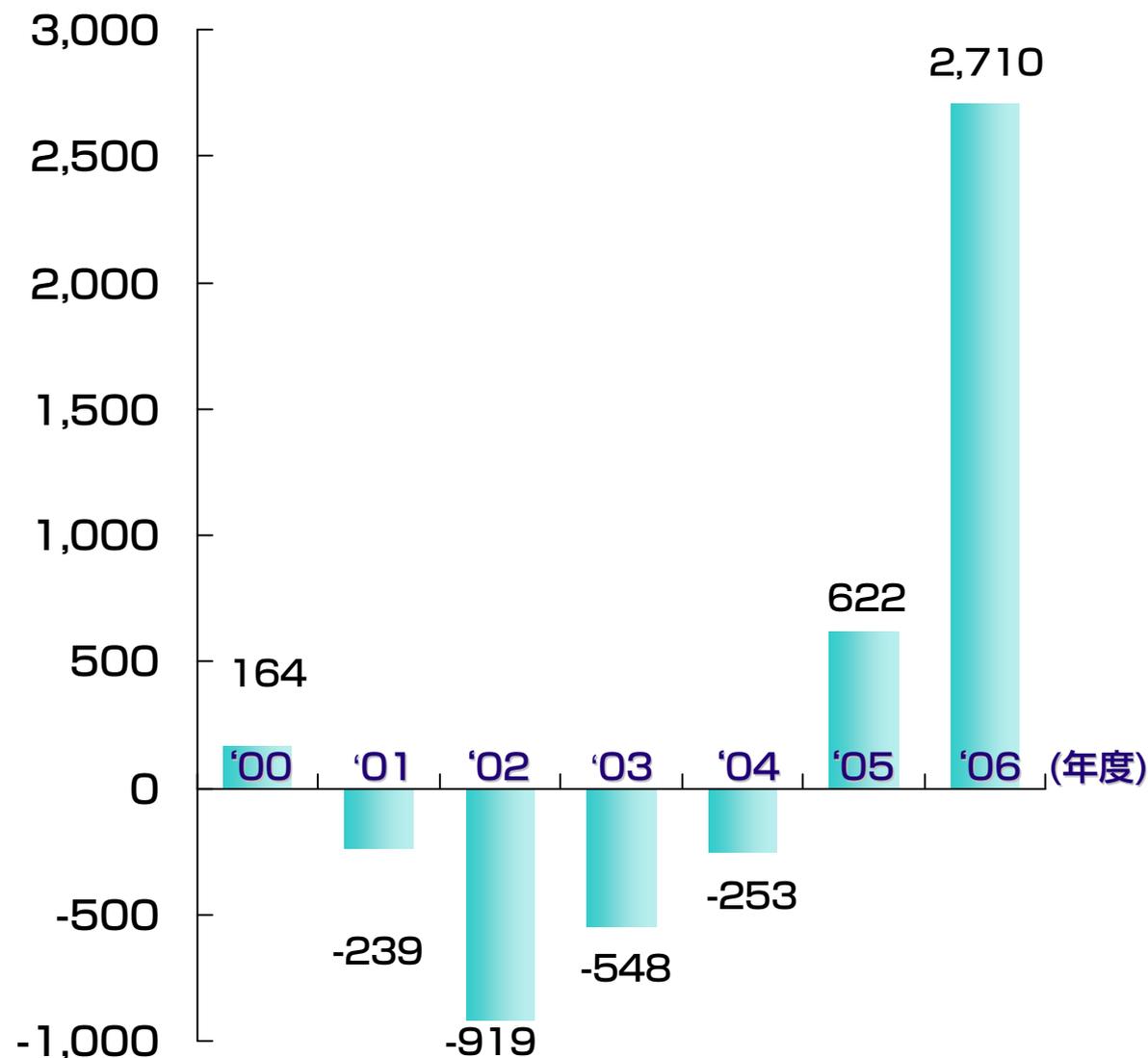


※ソフトバンクモバイル（旧ボーダフォン）業績は2006年5月1日から連結

連結營業利益(年度)

SoftBank

<単位：億円>



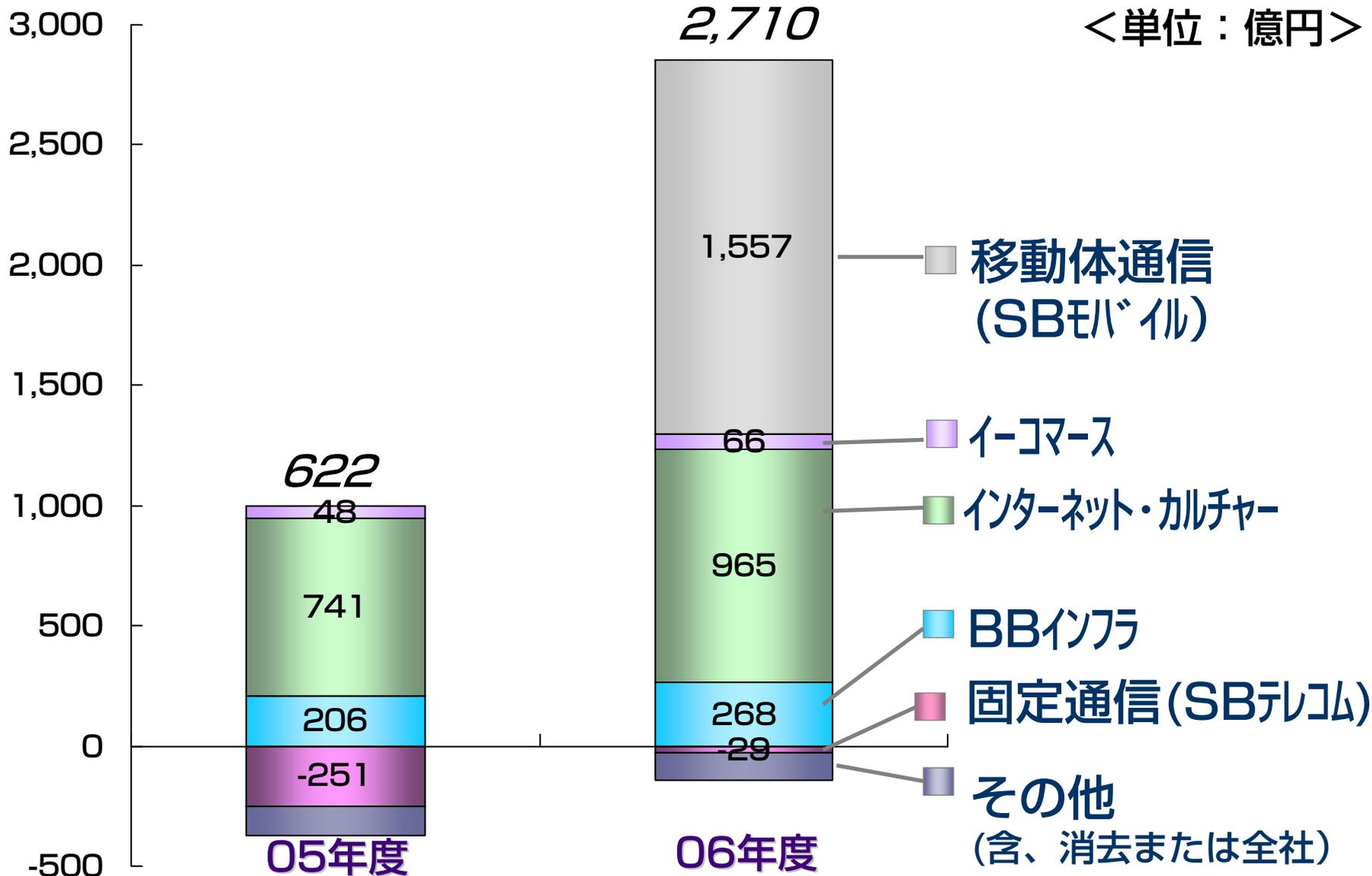
06年度
2,710億円

前年同期比
+2,087億円

セグメント別営業利益（年度）

SoftBank

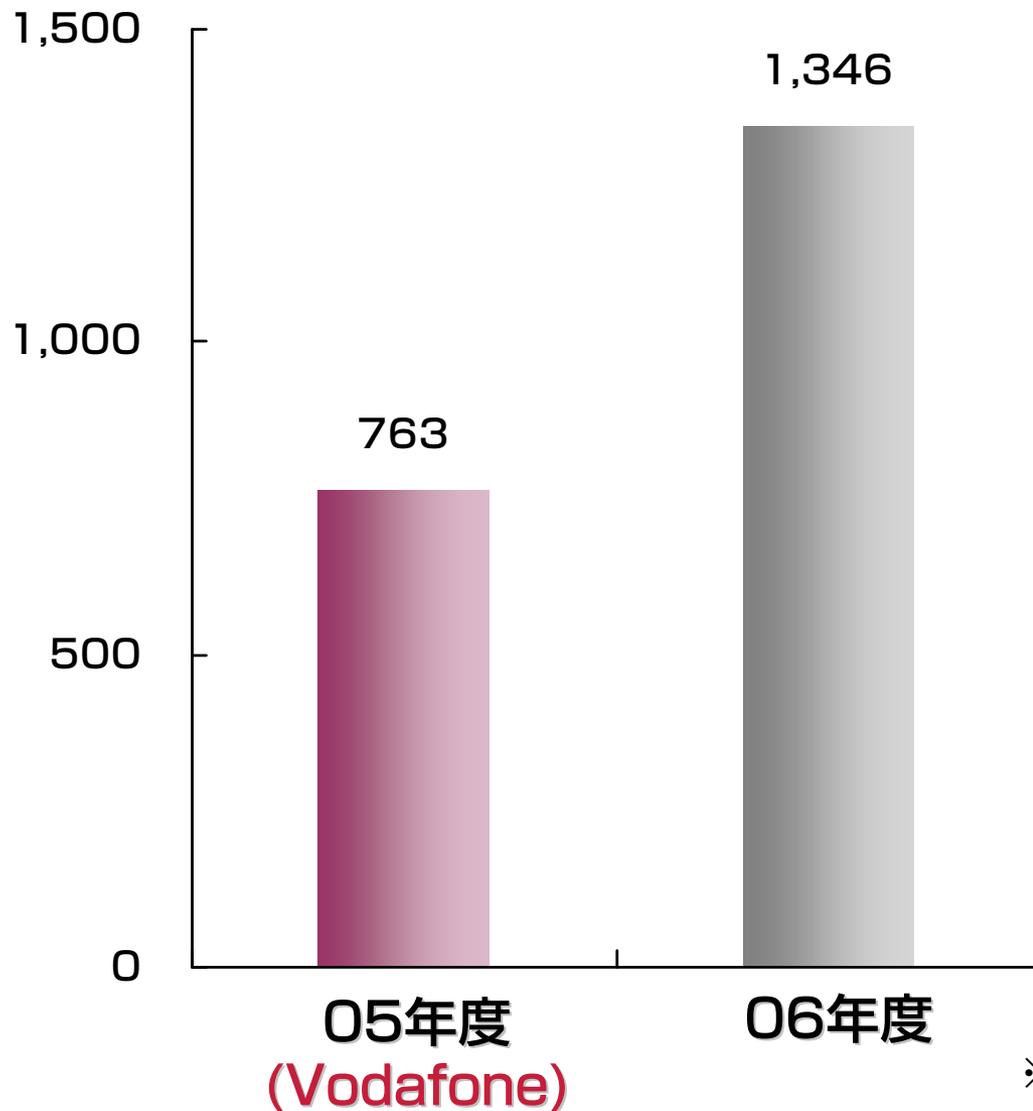
<単位：億円>



※ソフトバンクモバイル（旧ボーダフォン）業績は2006年5月1日から連結

ソフトバンクモバイル営業利益※(年度) SoftBank

<単位：億円>



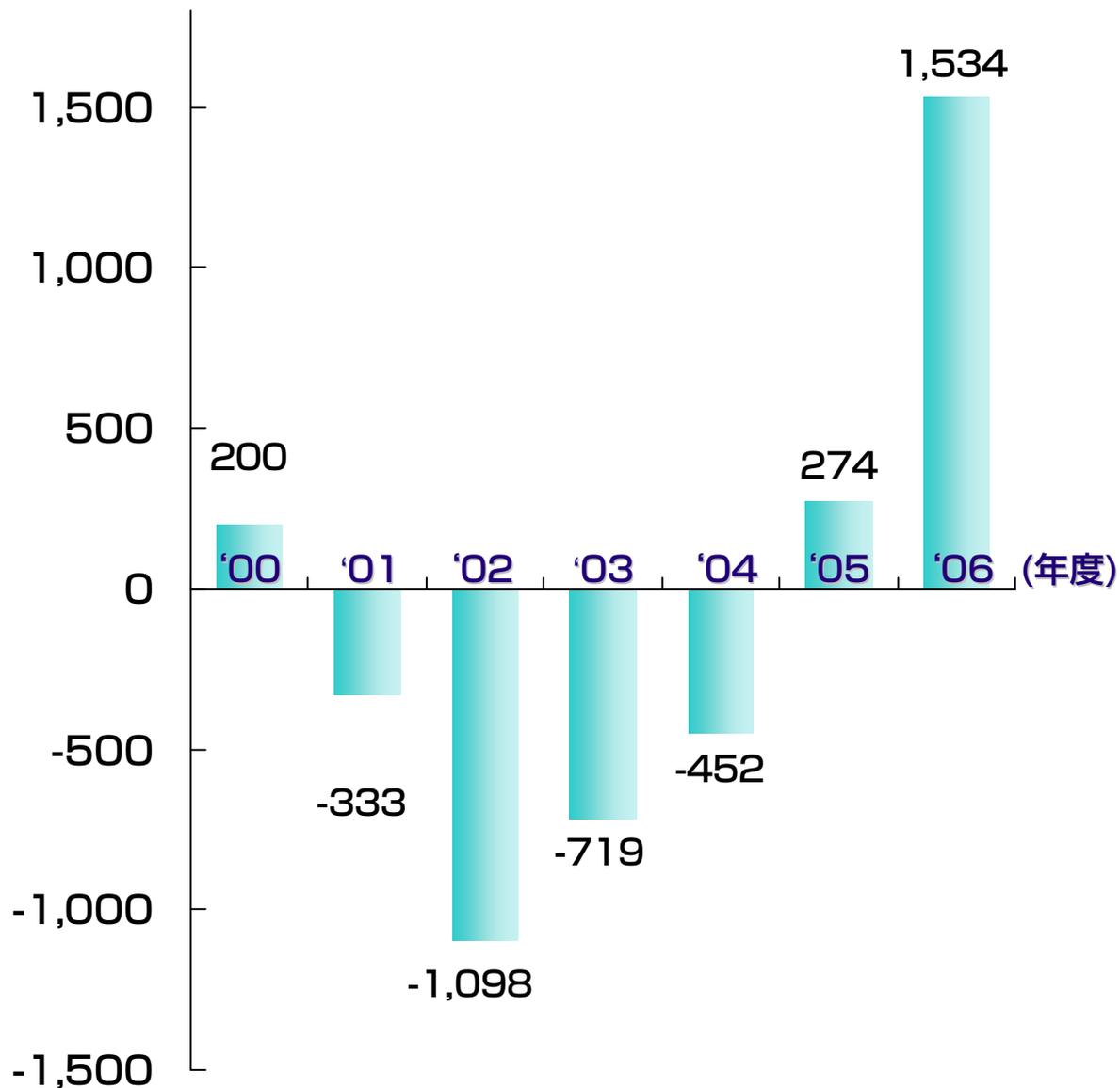
営業利益は
1.8倍へ

※ソフトバンクモバイル(株)連結営業利益

連結經常利益(年度)

SoftBank

<単位：億円>



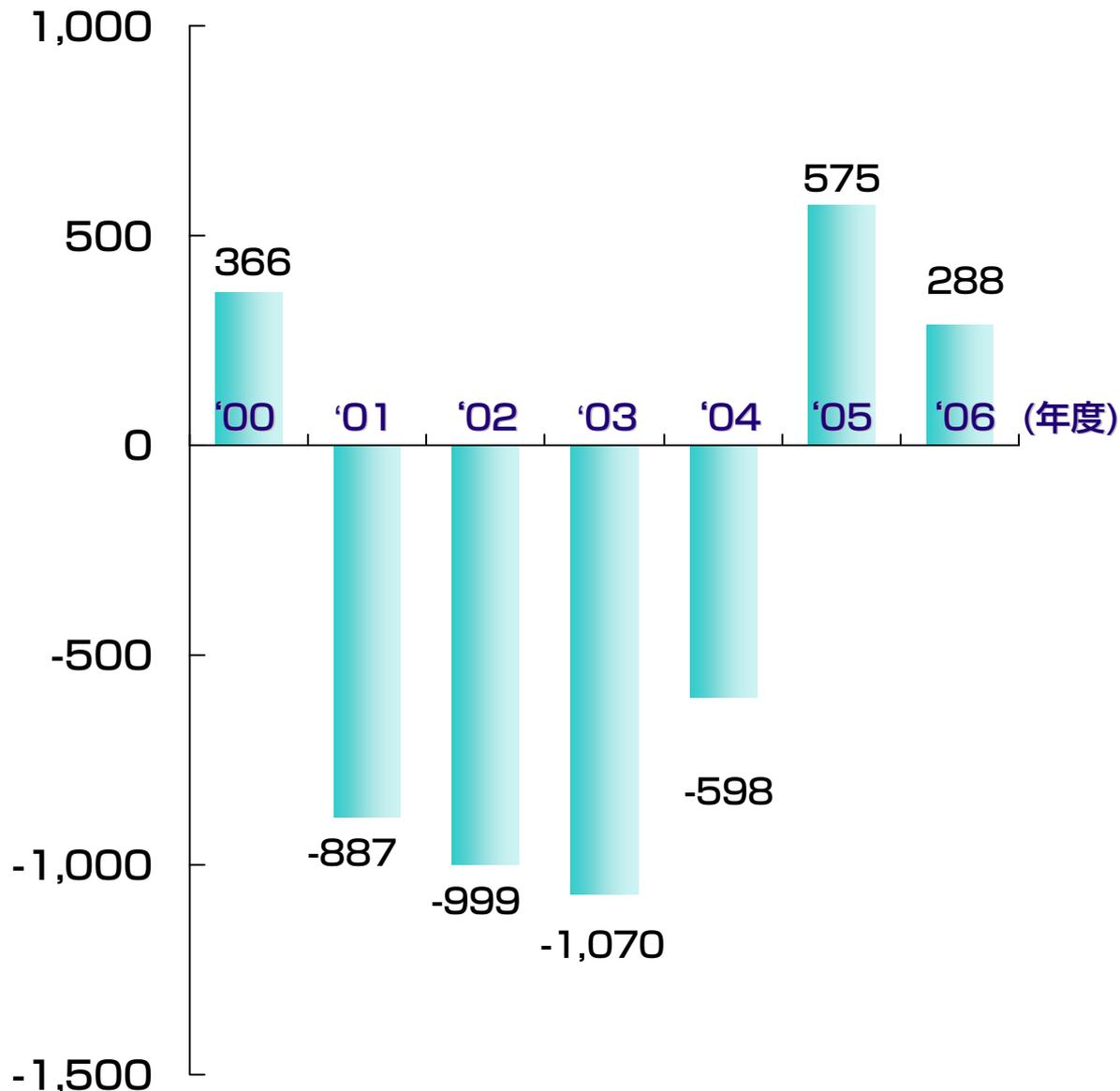
06年度
1,534億円

前年同期比
+1,259億円

連結当期純利益(年度)

SoftBank

<単位：億円>



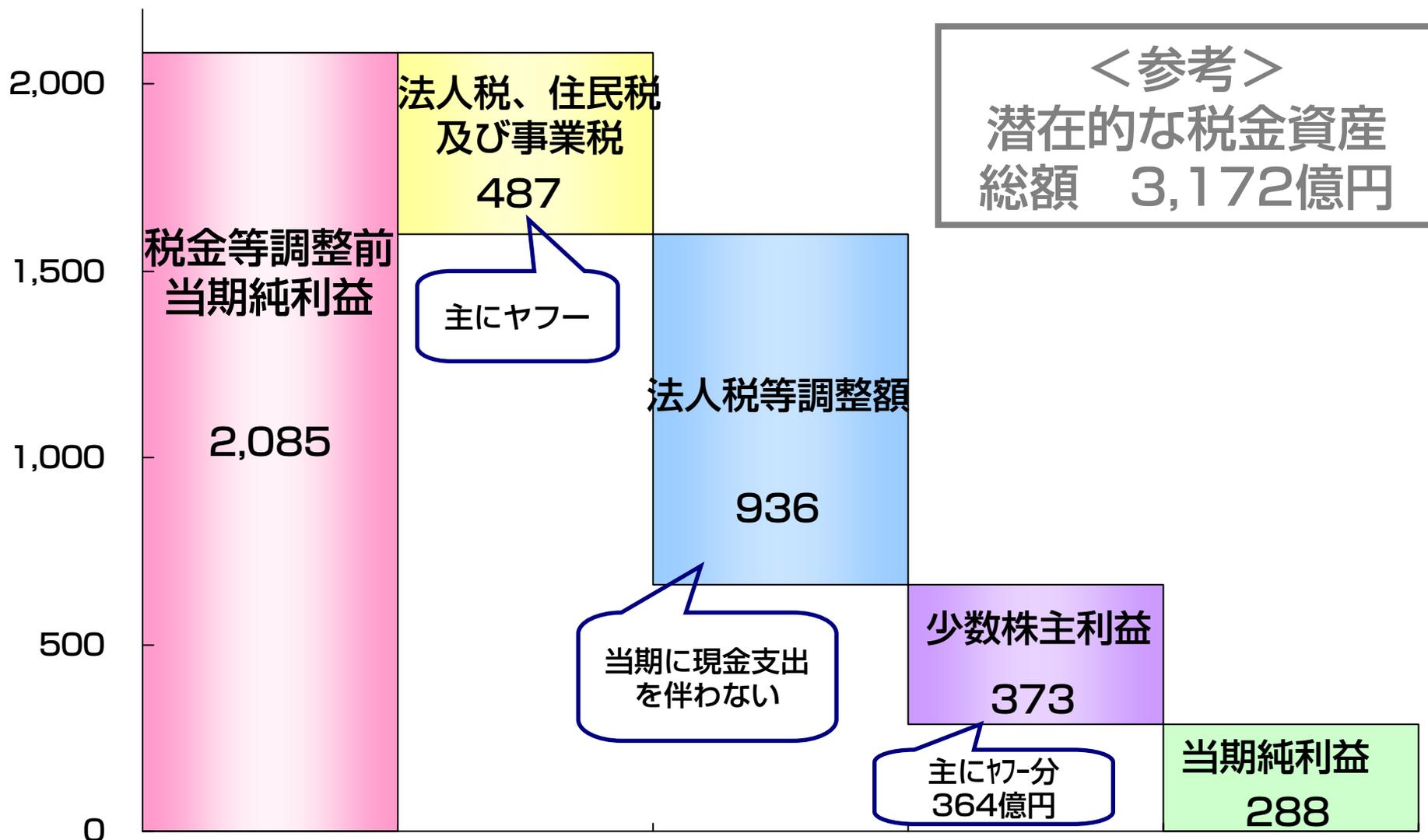
06年度
288億円

前年同期比
△287億円

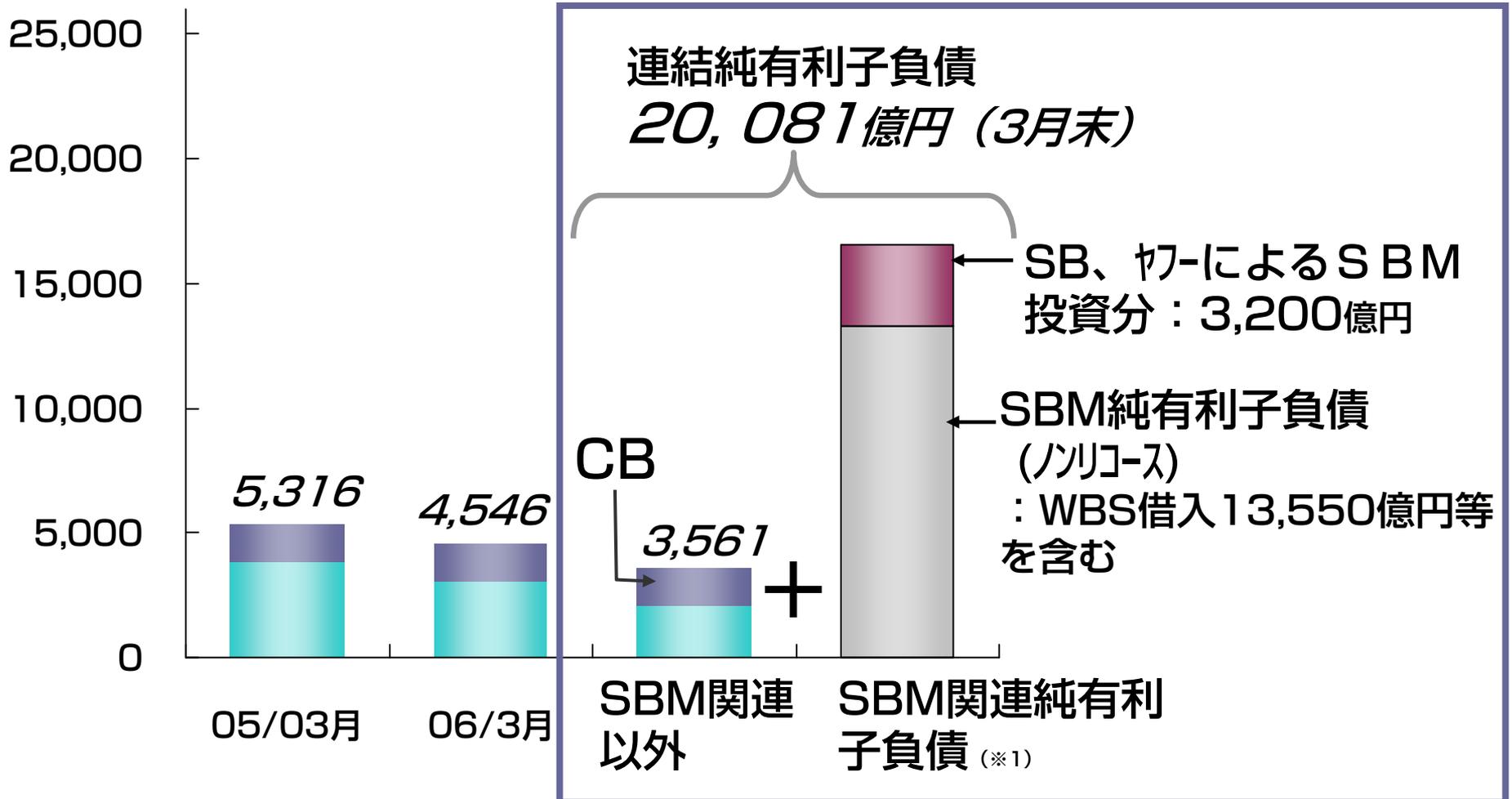
税金、その他調整額の内訳

SoftBank

<単位：億円>



純有利子負債

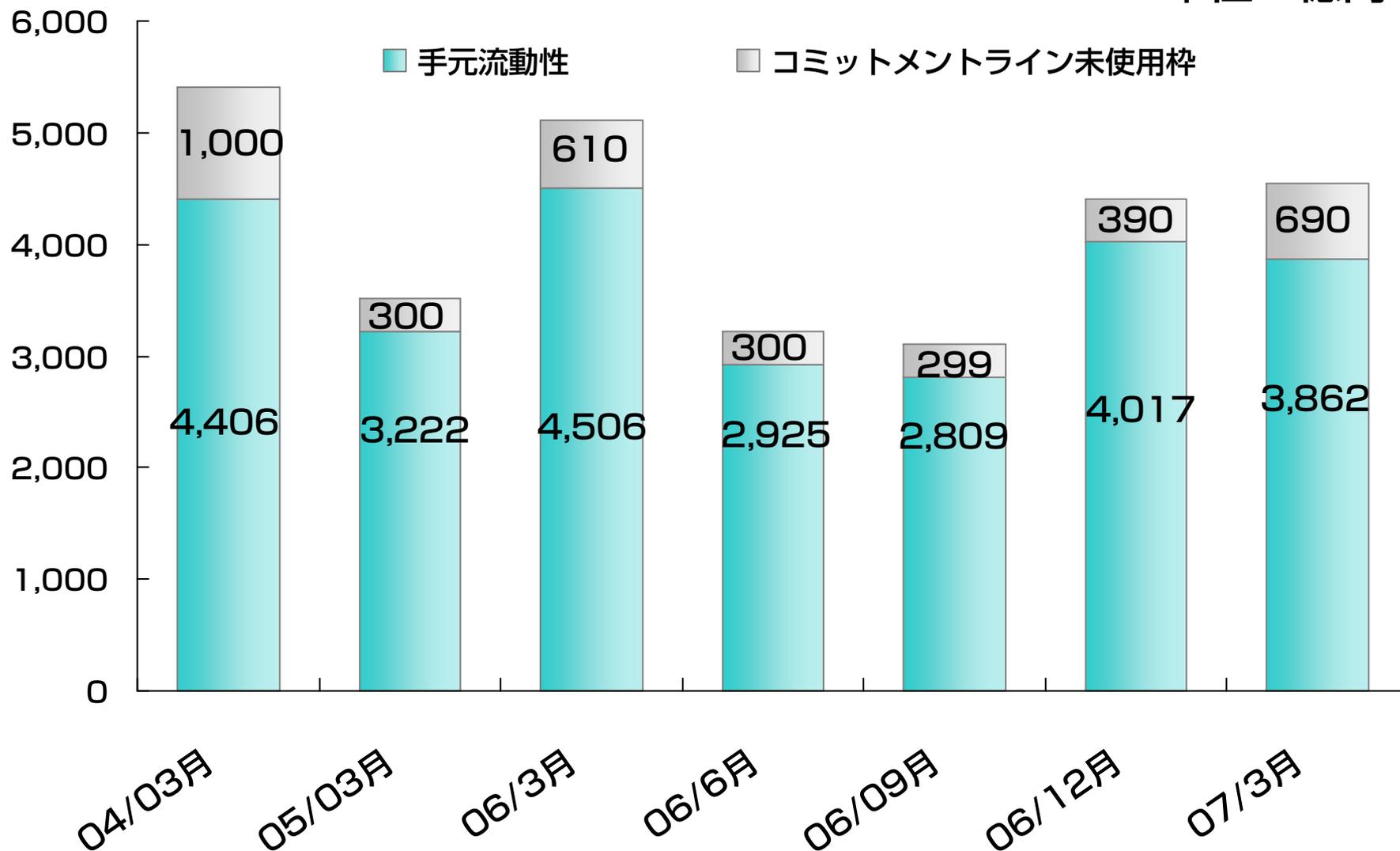


(※1)買収および買収ファイナンスにかかる費用は含まず
 SBM・・・ソフトバンクモバイル

手元流動性

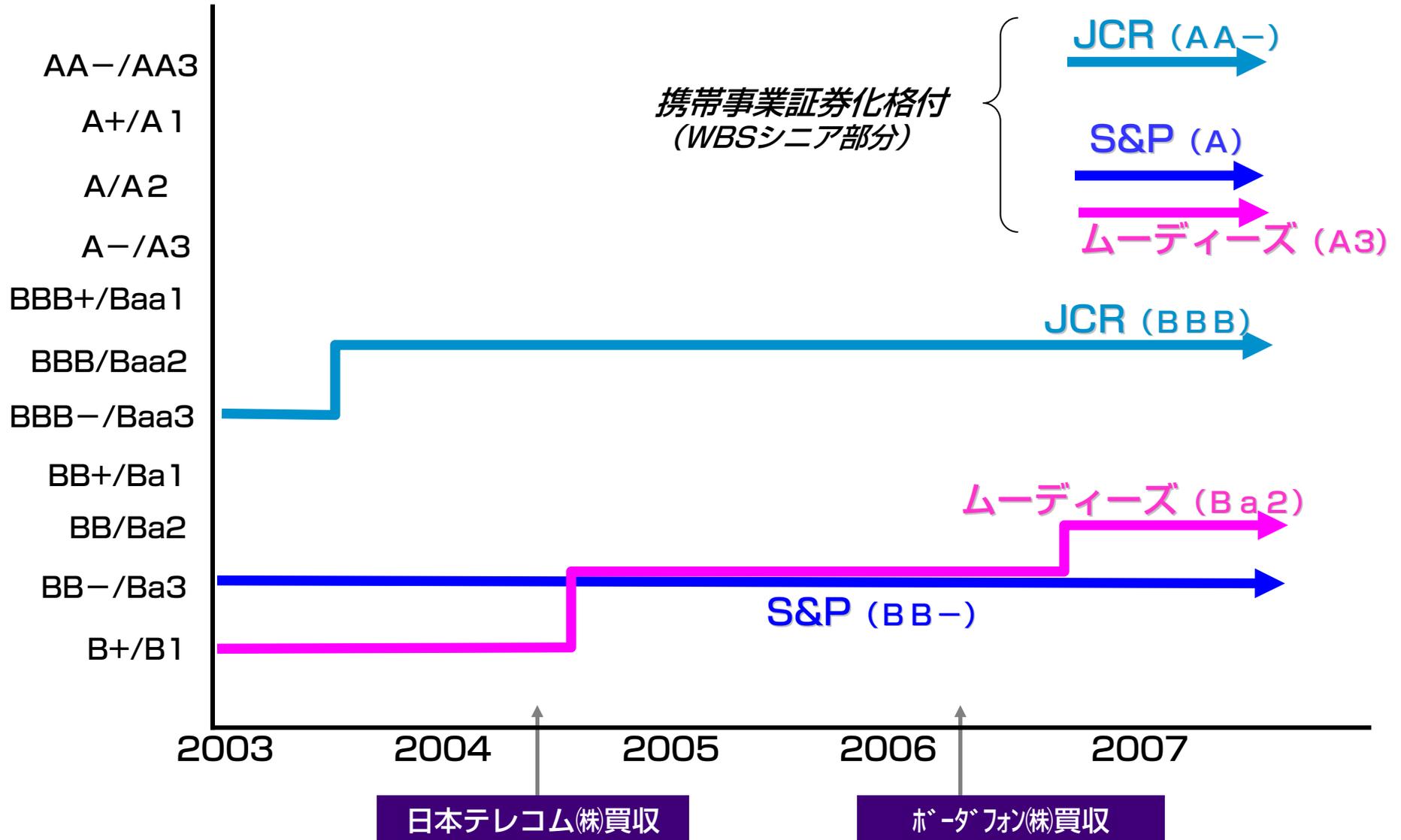
SoftBank

<単位：億円>



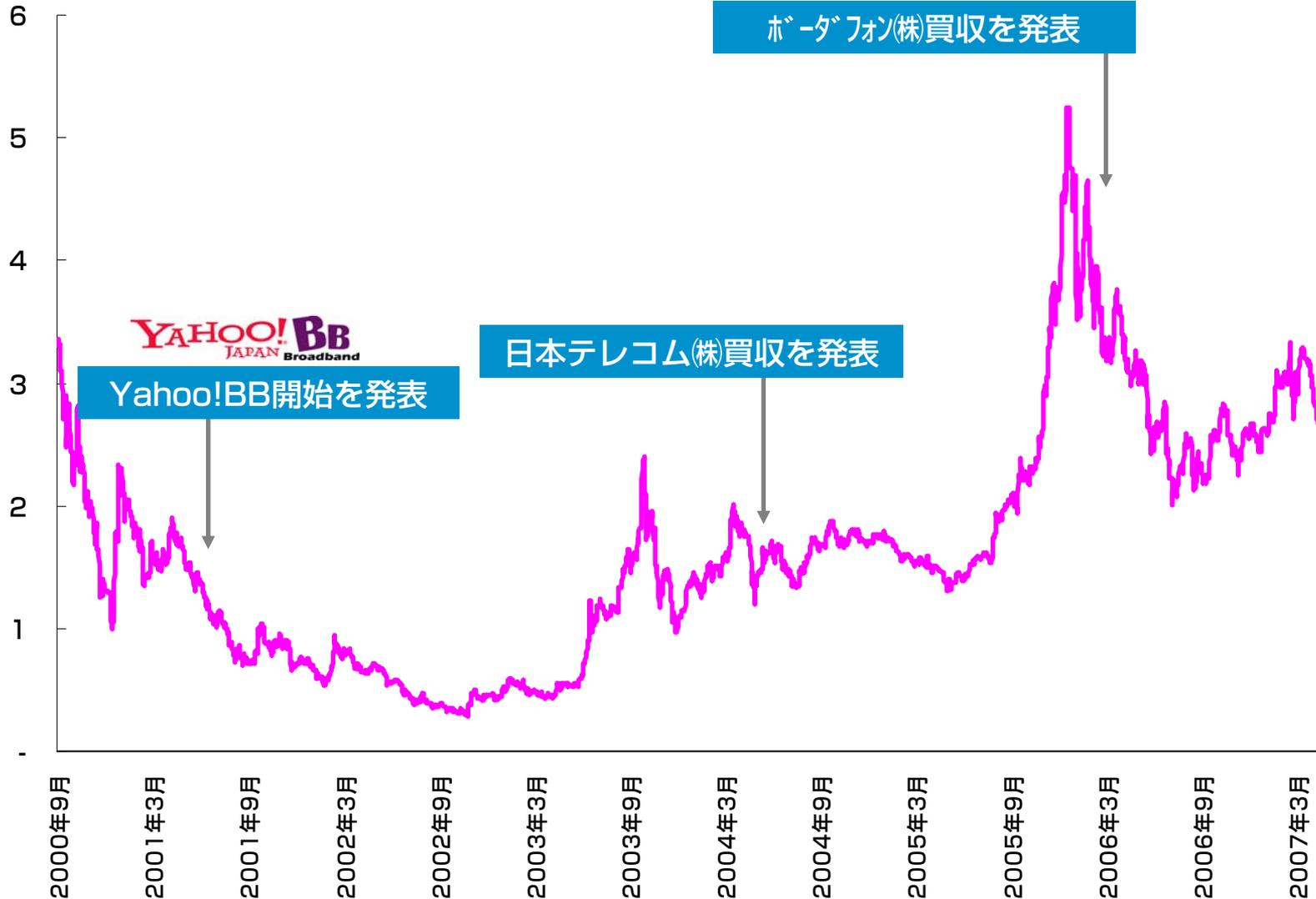
格付推移

SoftBank



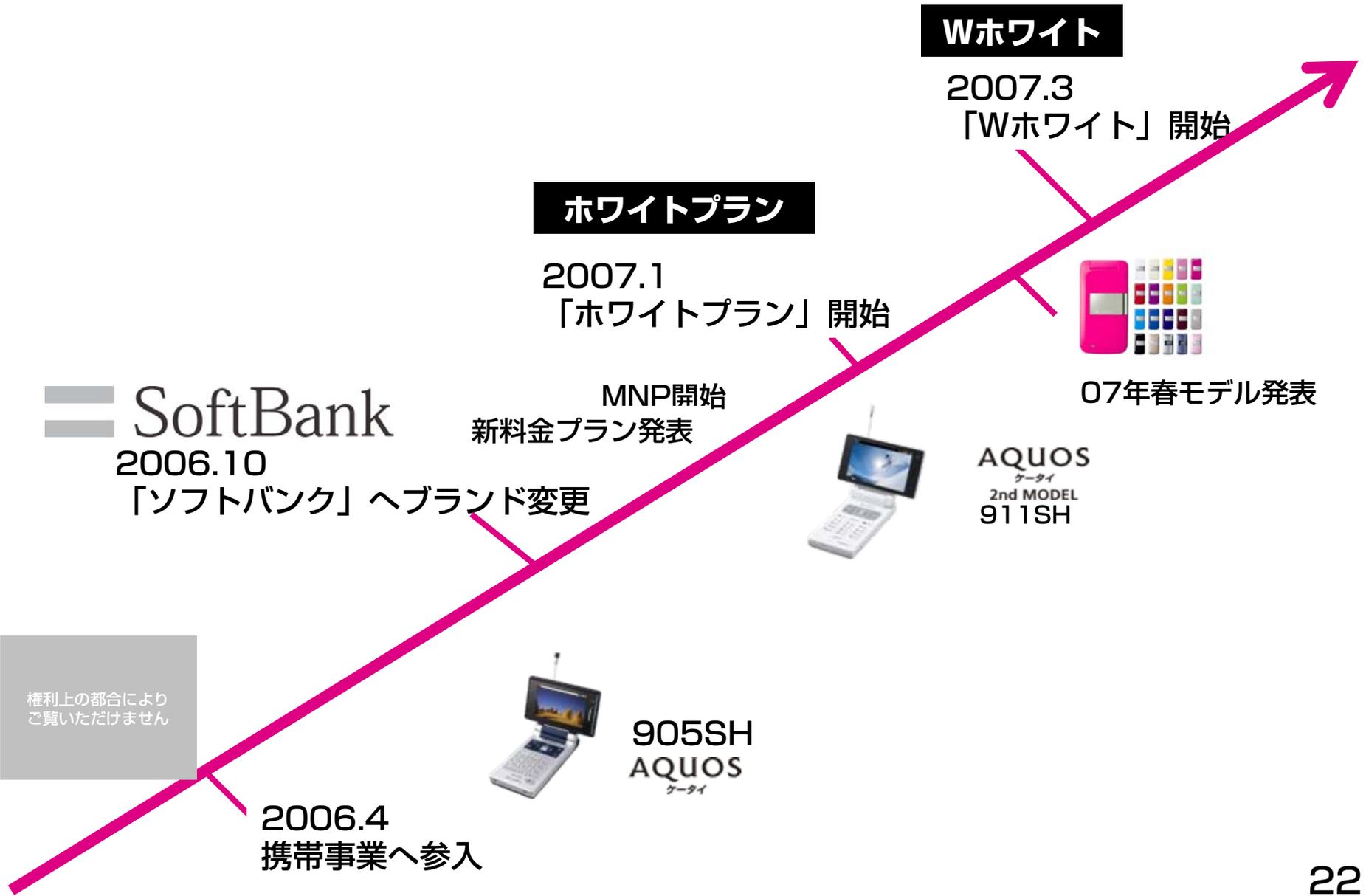
ソフトバンク株式時価総額の推移

<兆円>



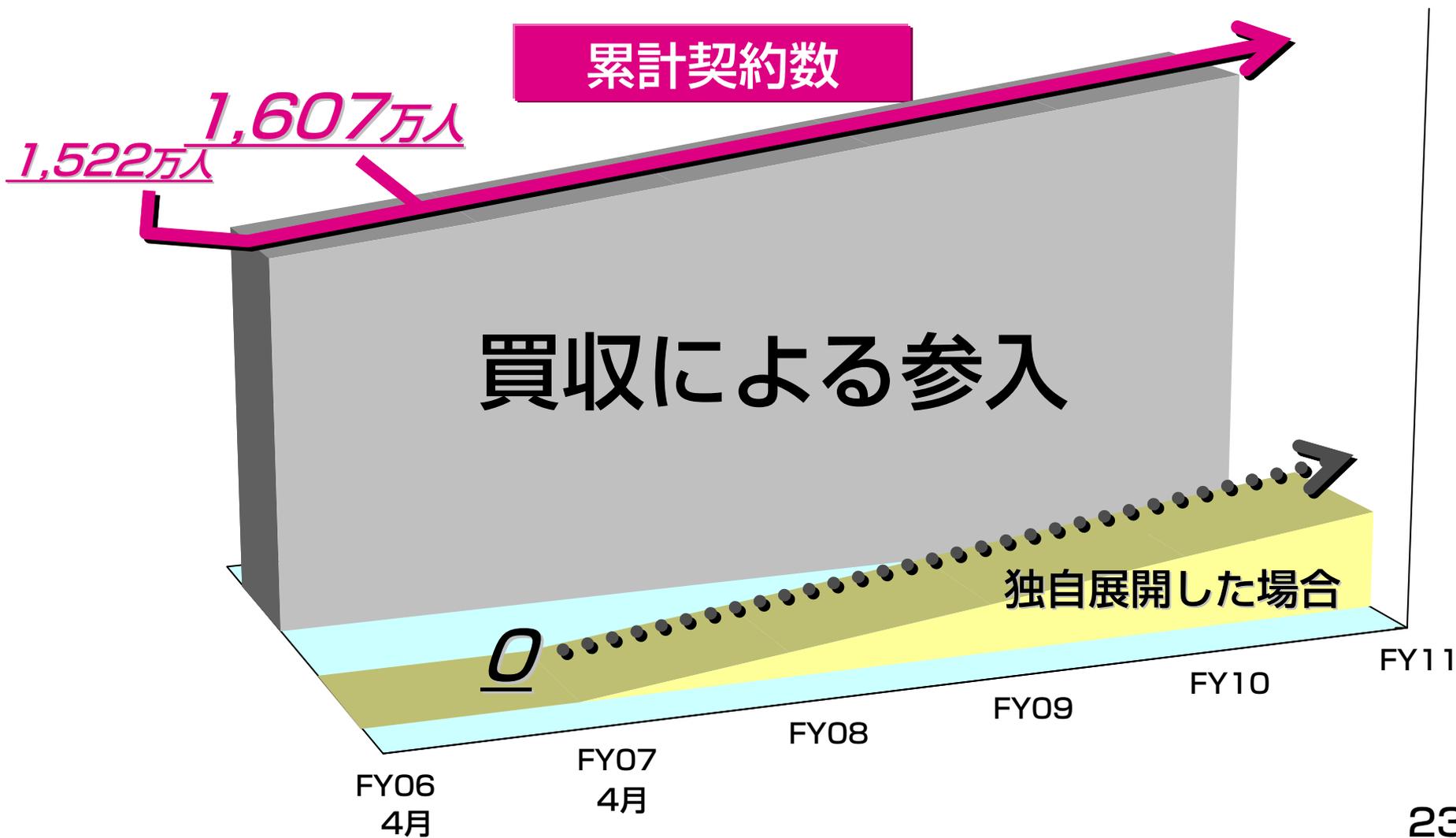
H19年3月期 事業成果

劇的なスタートダッシュ

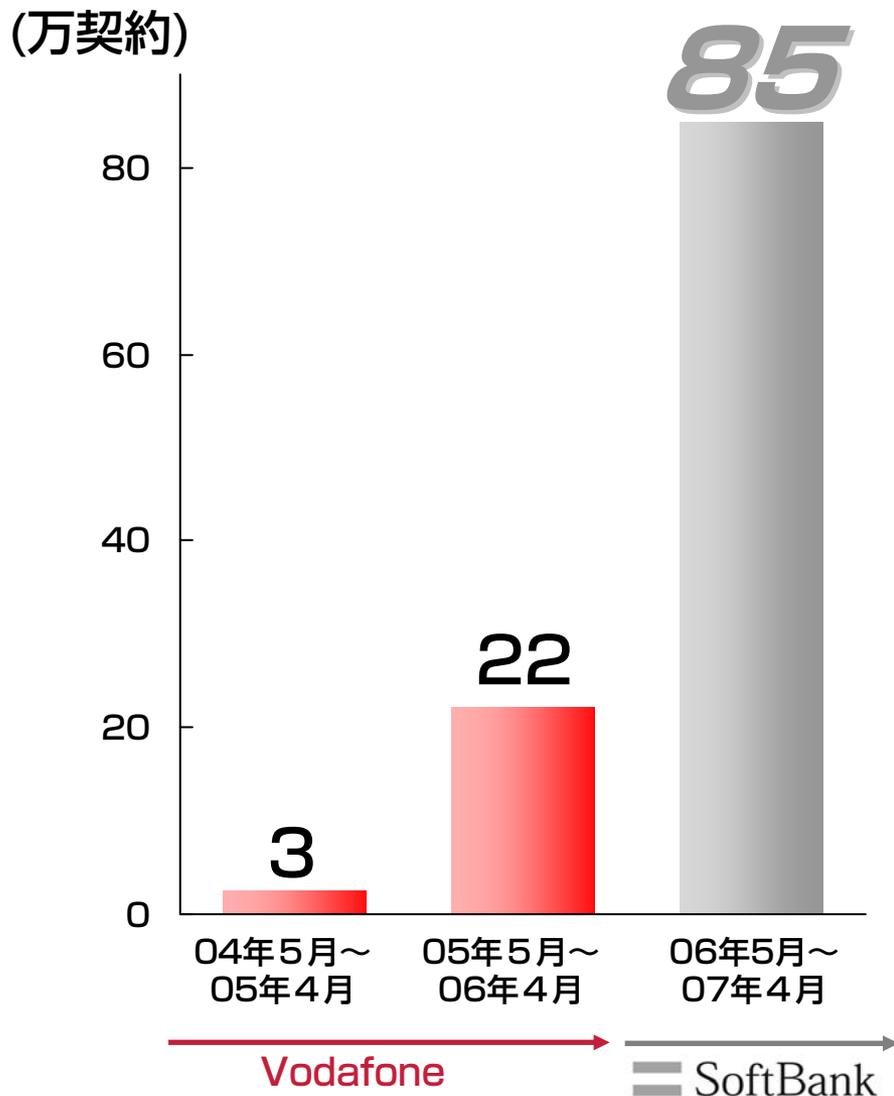


買収後、顧客基盤を着実に拡張

2006年4月から12ヶ月で85万の純増契約数



年間純増契約数は劇的に増加



年間純増契約数
= 約4倍

2007年4月末時点契約状況

4月月間純増契約数
(プリペイド除く純増契約数)

16万超
20万超)

累計契約数

1,600万超

3G契約比率

50%超

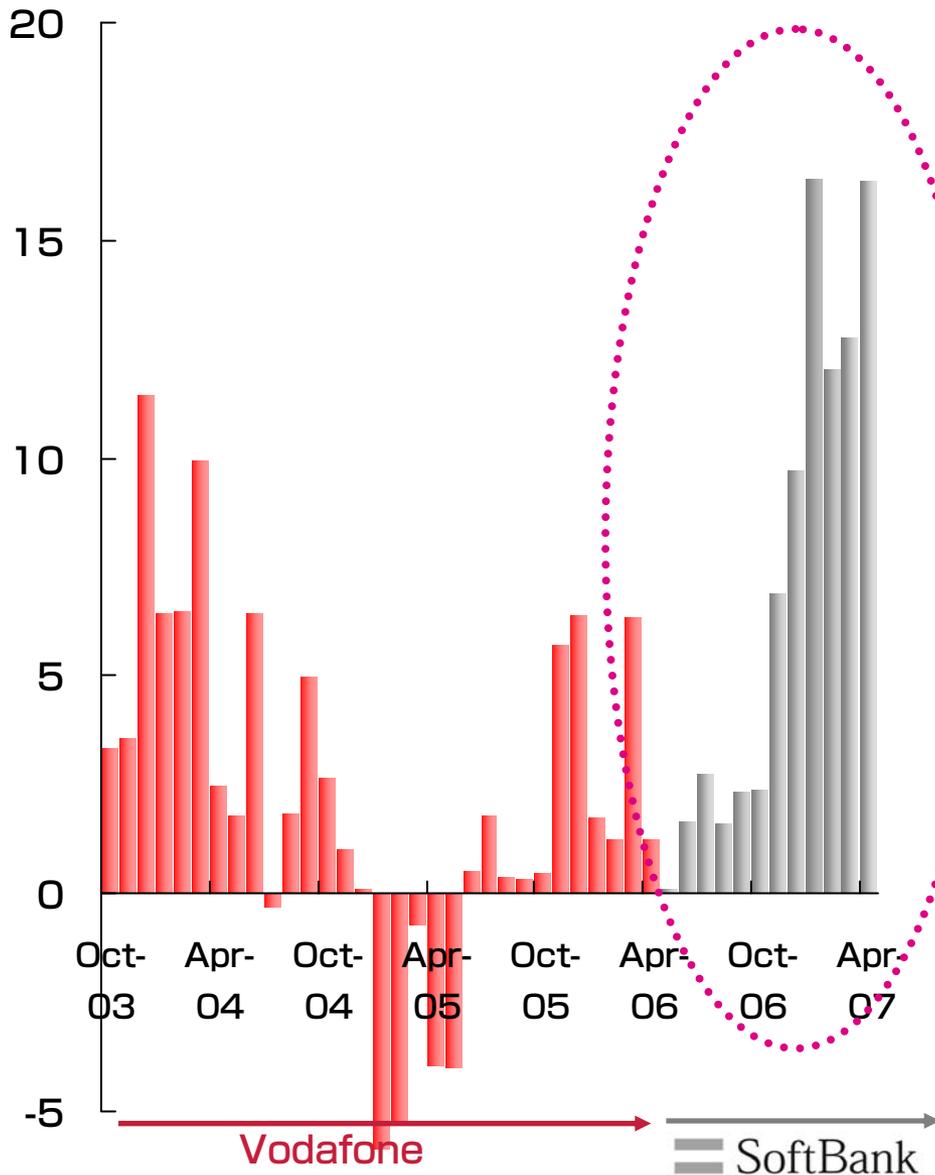
ホワイトプラン加入者数

400万超*

*2007年5月3日に達成

純増契約数

(万契約)

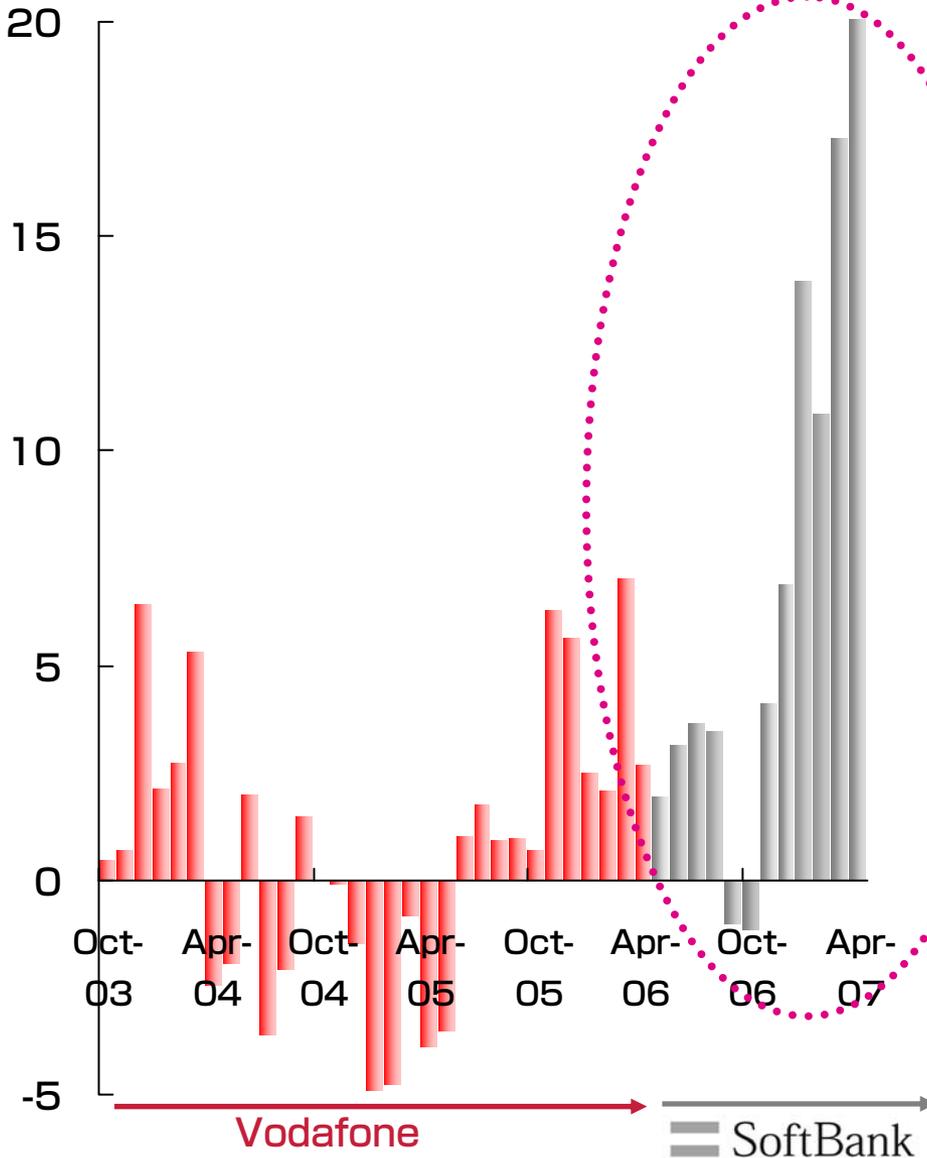


2007年4月純増数：
16万超

**トレンドは
完全に好転**

純増契約数（プリペイド除く）

(万契約)

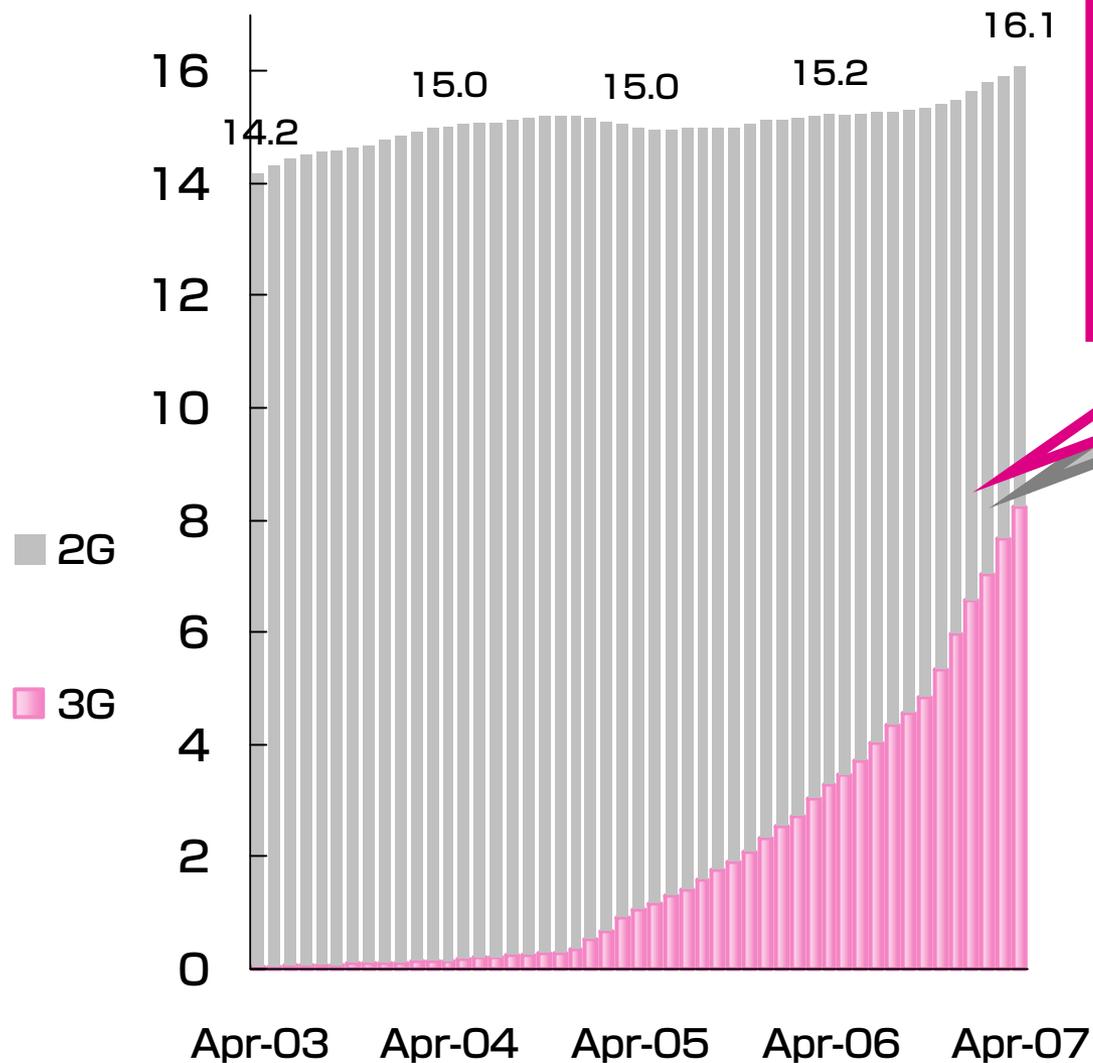


2007年4月純増数：
20万超

**段違いの
改善**

累計契約数

(百万契約)

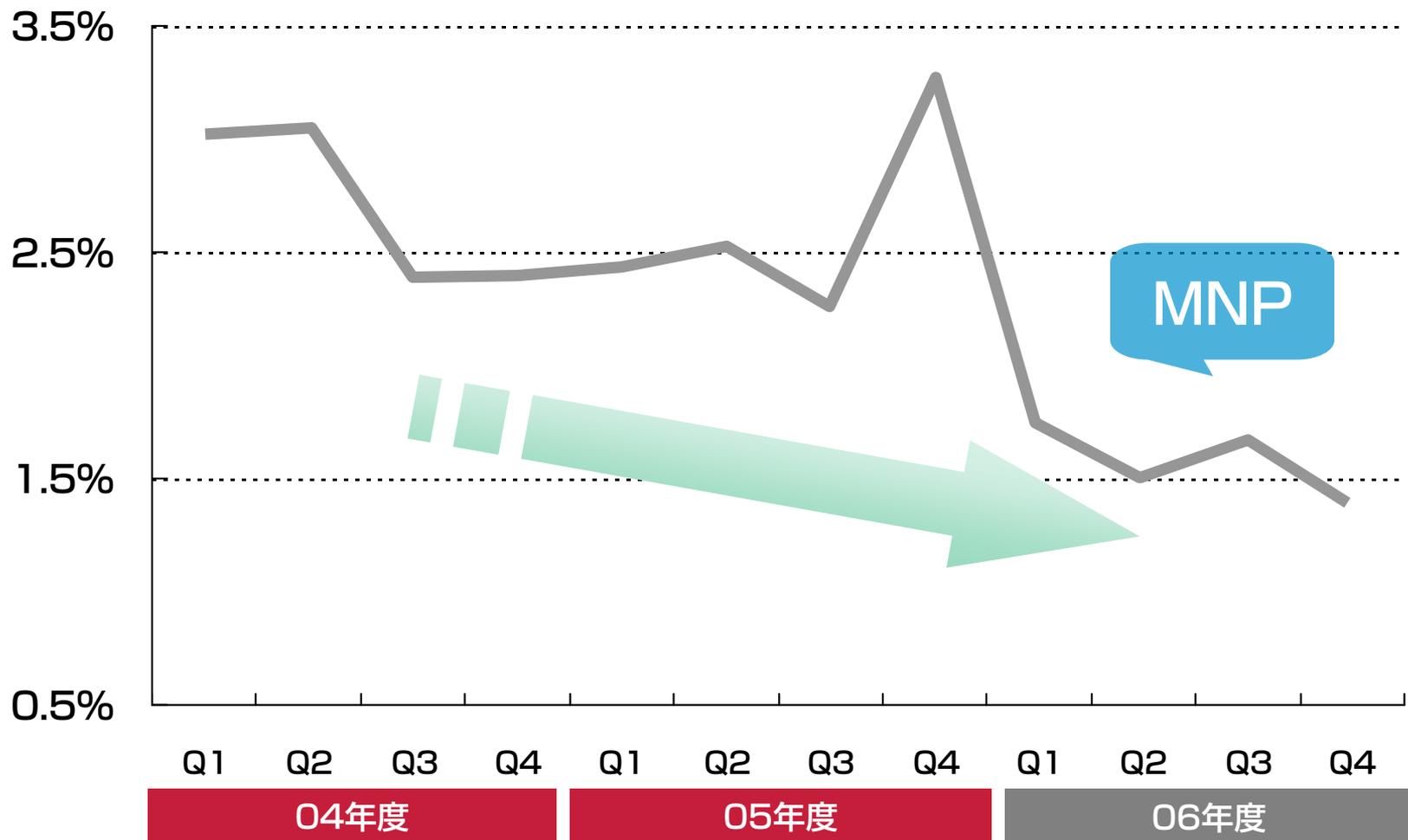


2007年4月末
 3G契約数: 8.2百万
 3G比率: 51.1%
 (06年3月末比 +31pp)

**1年で3G比率は
2.5倍超に**

3G解約率（四半期）

劇的に改善



劇的な変化

3G基地局数

約21,000→約31,000

(07年4月末)

ネットワーク満足度
+26%

発売機種数 2.2倍

発売カラー数 3.9倍

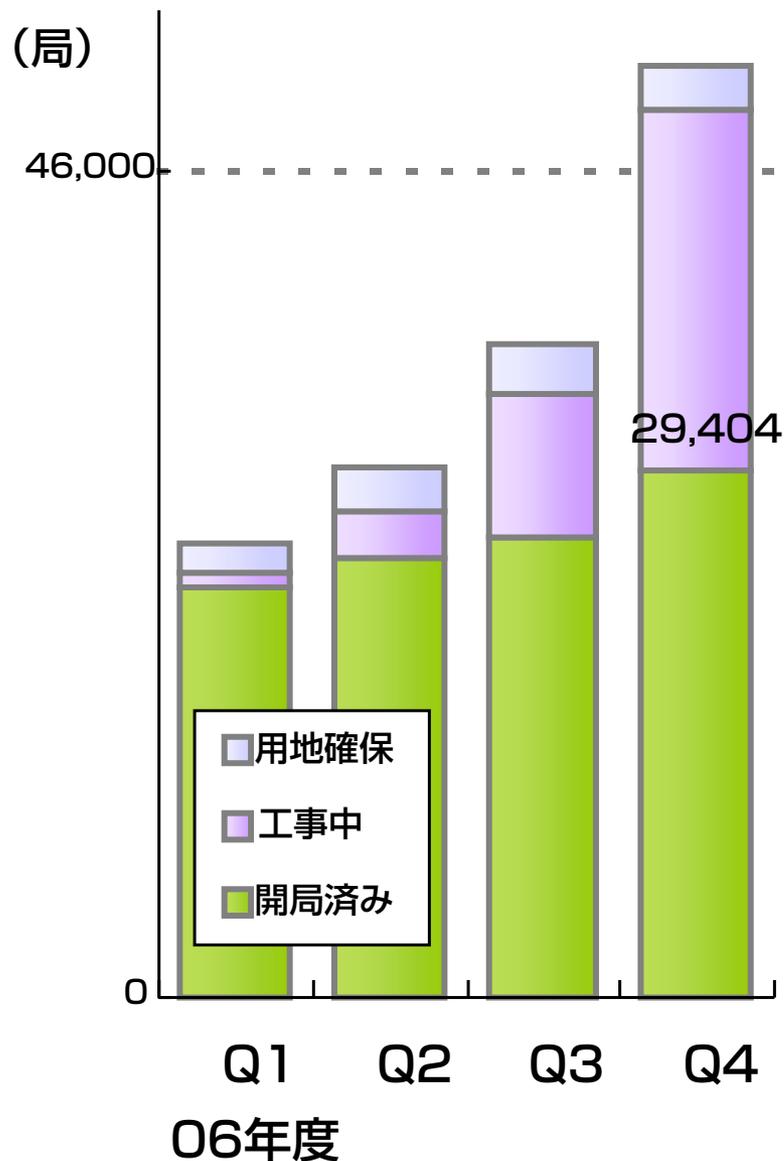
CM好感度
No.1

端末の割賦販売選択率
80%以上

Yahoo! ケータイ
トップページアクセス
53倍

3Gネットワークを強化

3Gネットワークを強化～基地局

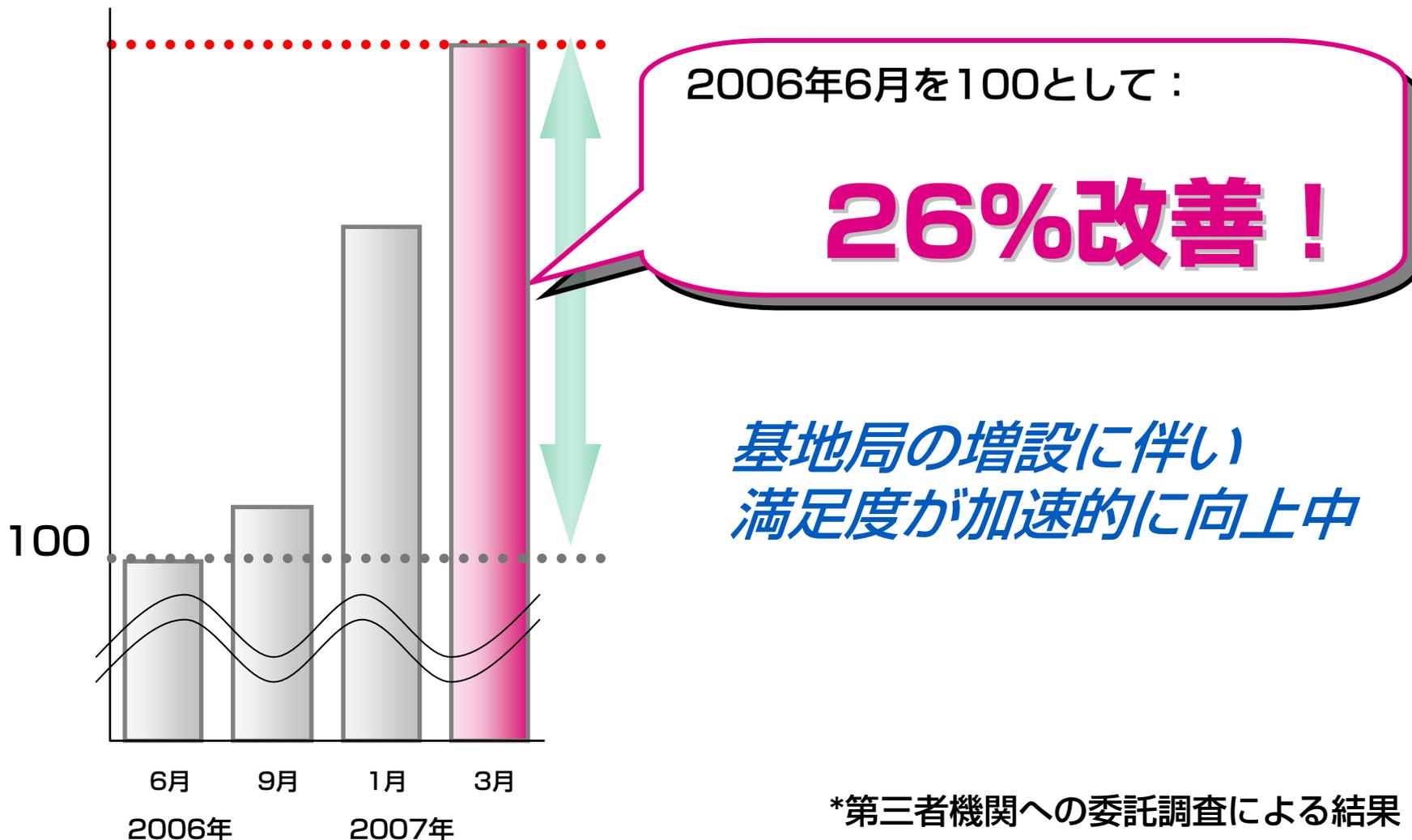


2007年4月末：

約31,000局を達成

2007年度上期に
46,000局を達成予定

3Gネットワークを強化～満足度



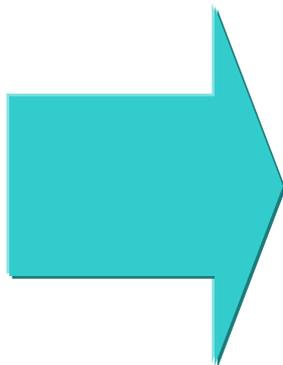
端末を拡充

35機種

19機種



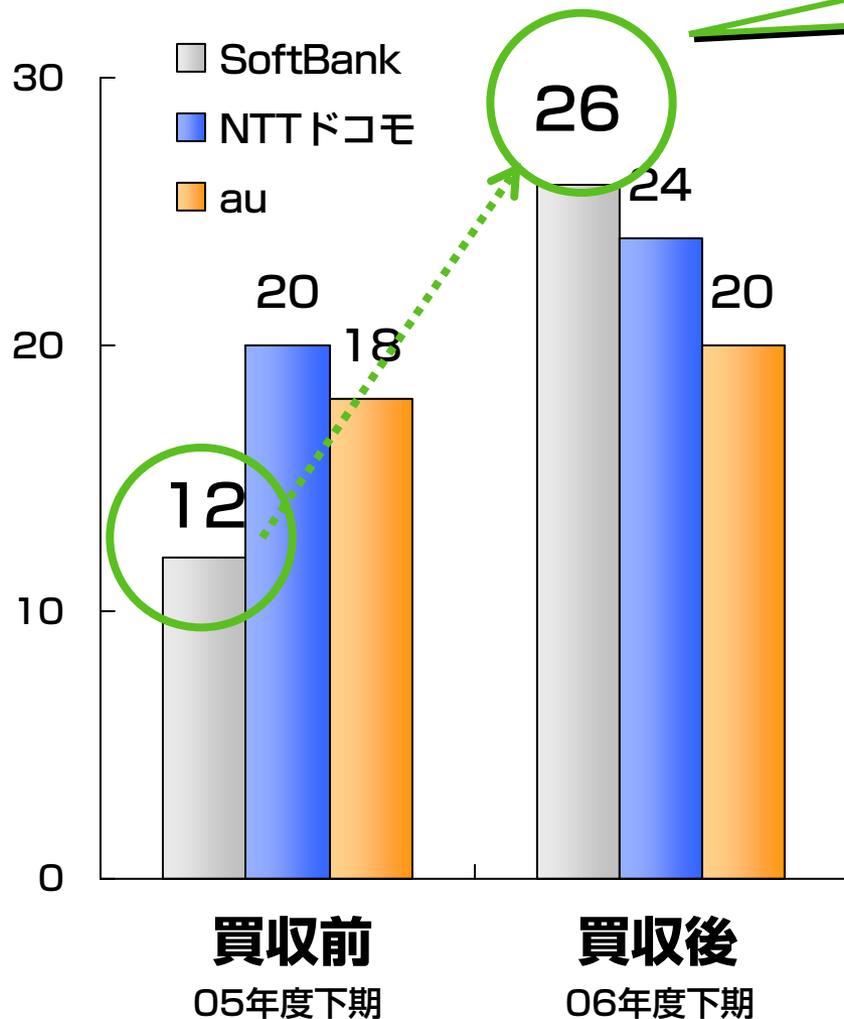
05年度



06年度

他社比較 (機種数)*

(機種)



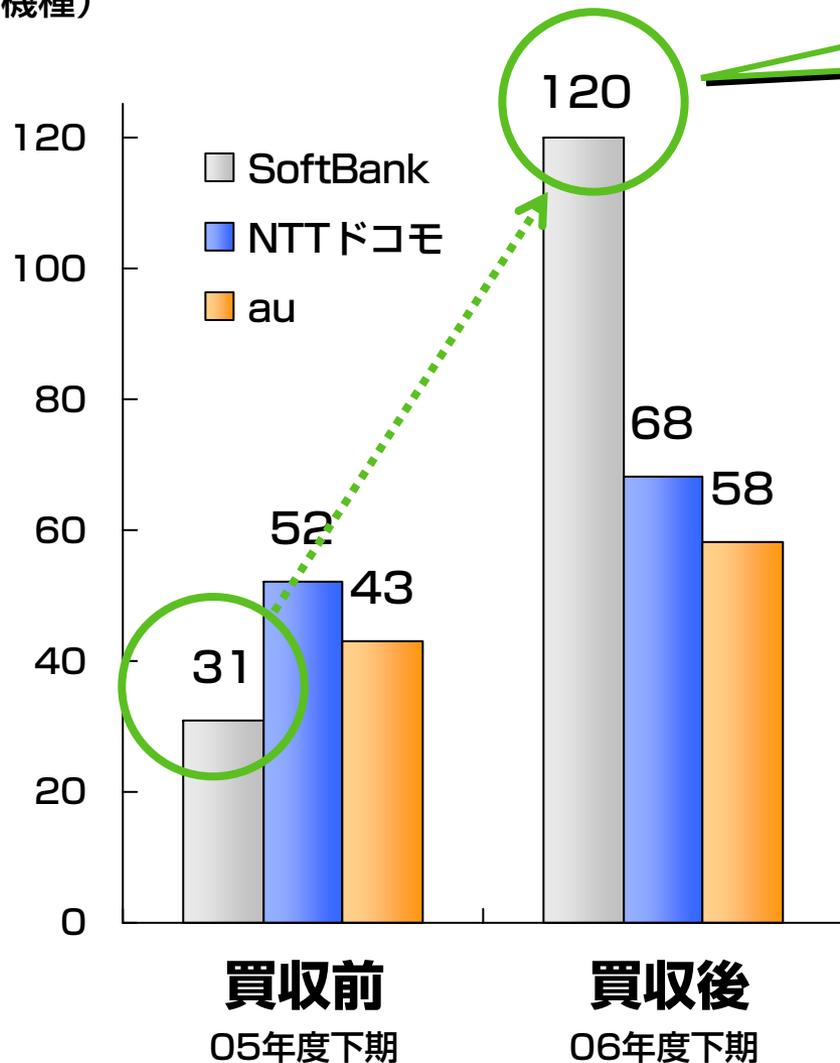
約2.2倍

No. 1 !

*自社推計

他社比較 (カラー数)*

(機種)



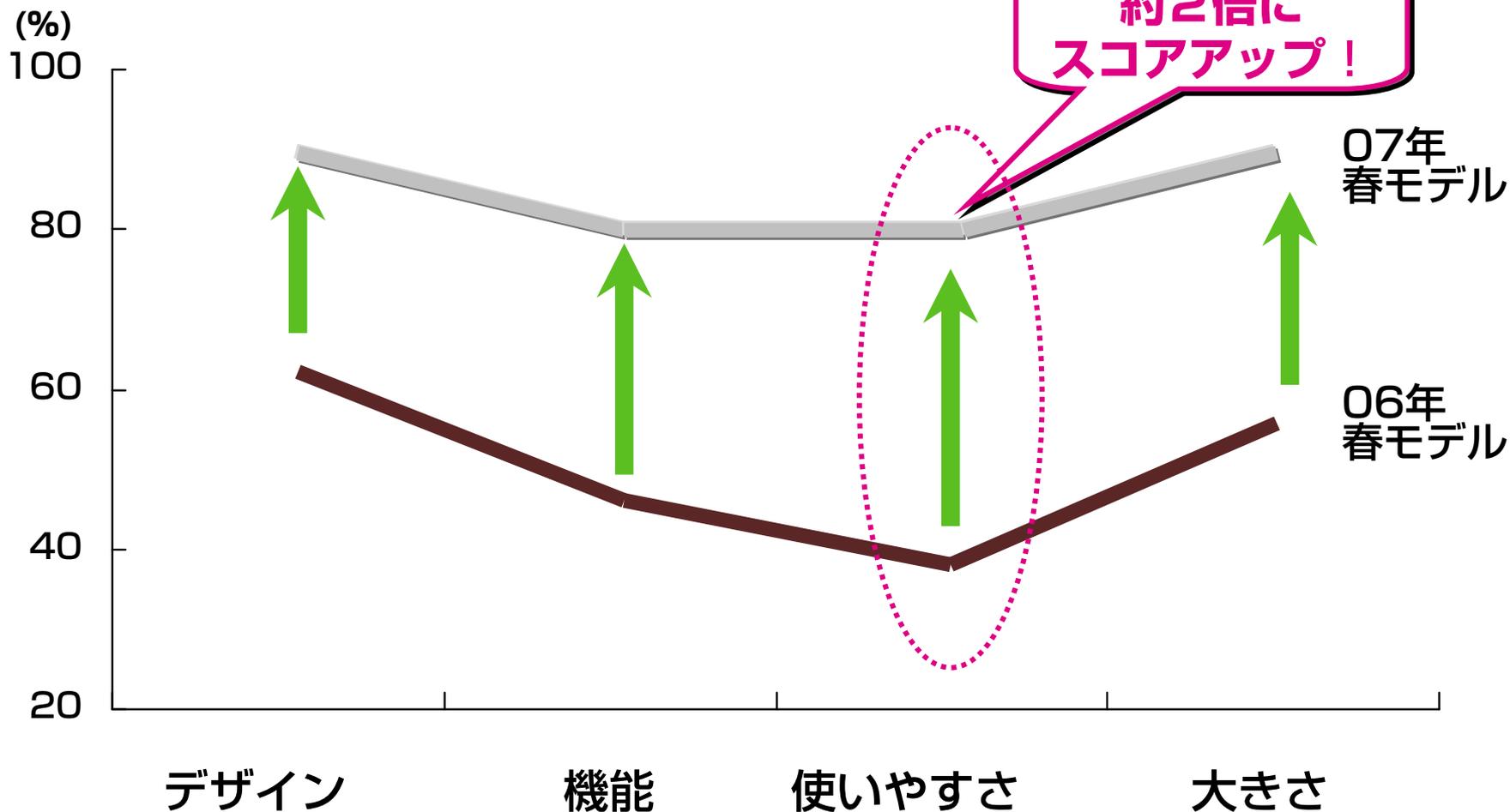
約3.9倍

圧倒的No.1!

*自社推計

端末への満足度が大幅上昇

「ユーザーに好かれる」端末に



出典：ソフトバンクモバイルによる調査

ケータイのトレンドセッター

他社の一歩先を行く端末を次々投入

ファッション



PANTONE®
ケータイ
812SH

スリム



ワンセグ



AQUOS
ケータイ
905SH

5ヶ月ワンセグNO.1!*



AQUOS
ケータイ
2nd MODEL
911SH

3ヶ月ワンセグNO.1!*



911T

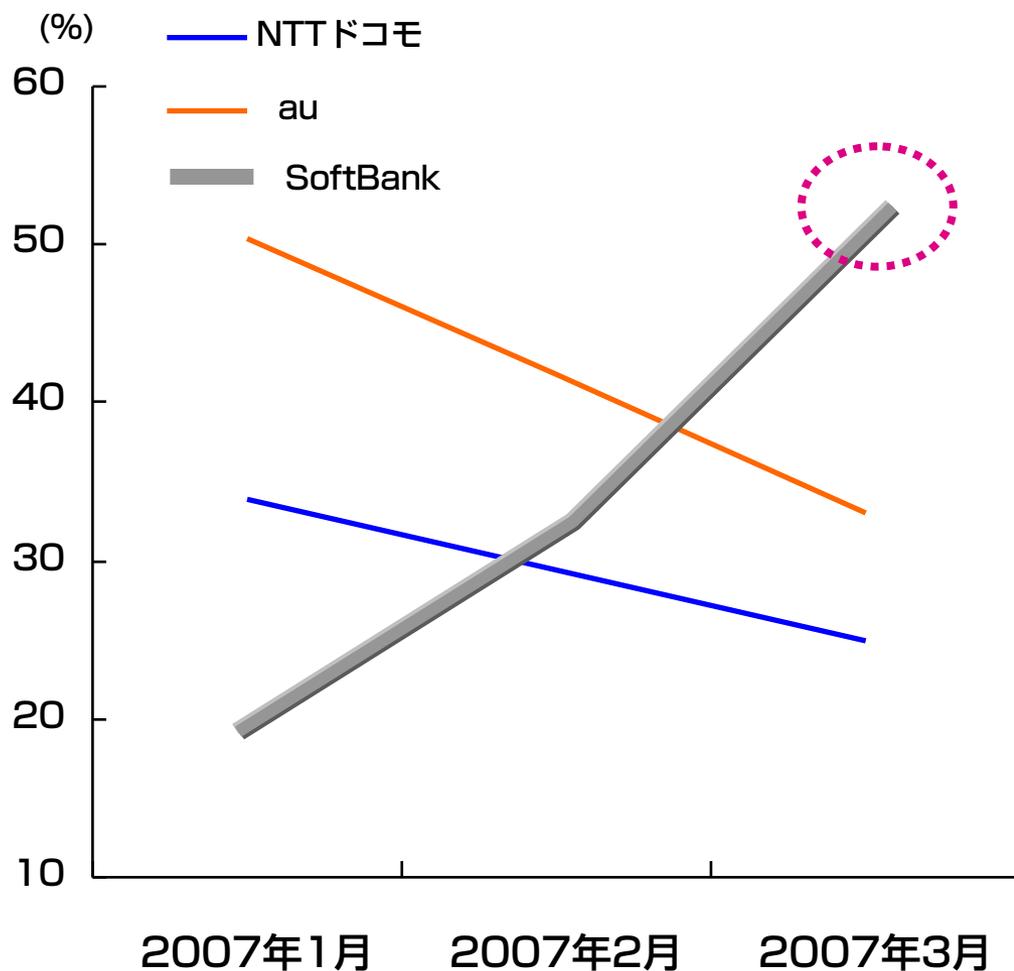
2006

2007

*905SH: 2006年6月～10月、911SH: 2006年12月～2007年2月において
ワンセグチューナ付携帯電話販売数量（新規）
全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ

「色が豊富」の認知を獲得

「携帯電話の色が豊富」のイメージがあるブランド



圧倒的優位性を
もってトップ



出典：第三者機関調査

ブランドイメージの向上

斬新な広告をぞくぞくと展開

一般企業初！5/7～18

東京の新ランドマーク「東京ミッドタウン」を広告ジャック



SoftBank EXPO 2007 @Tokyo Midtown

速いほうが、
カッコイイ。

 SoftBank

権利上の都合により
ご覧いただけません

好感度の高いCMを次々に投入

権利上の都合により
ご覧いただけません

好感度の大幅アップ

企業CM好感度 総合No.1*!

1位 ソフトバンクモバイル

- 2位 サントリー
- 3位 任天堂
- 4位 東京ガス
- 5位 日本コカ・コーラ
- 6位 トヨタ

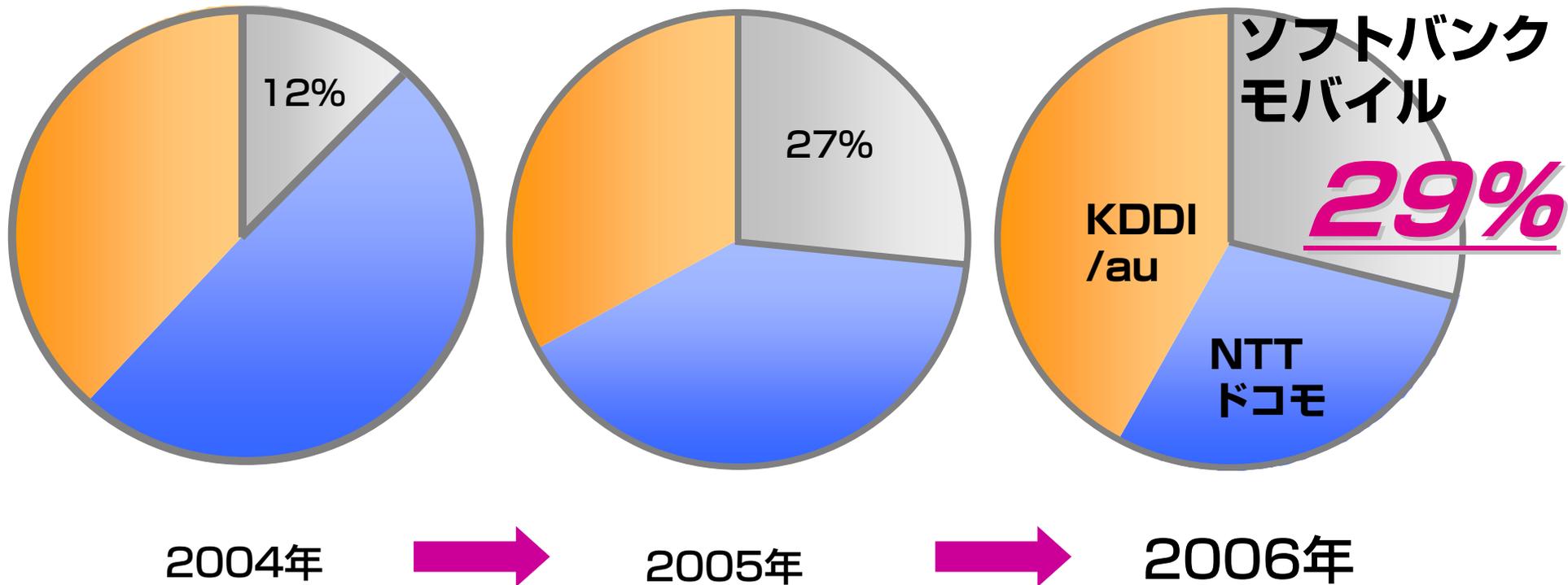
7位 KDDI (au含む全ブランド)

- 8位 花王
- 9位 富士フィルム
- 10位 ハウス食品
- 11位 シャープ
- 12位 資生堂
- 13位 明治製菓
- 14位 P&G

15位 NTTドコモ

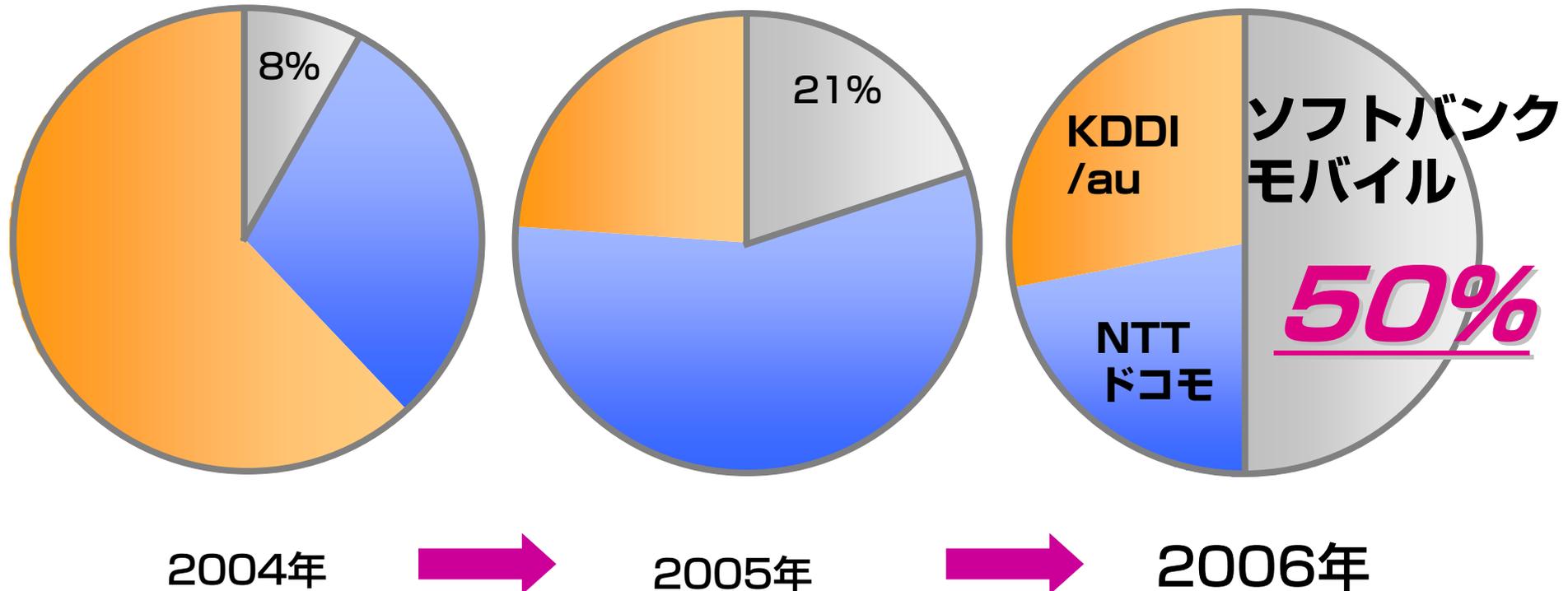
CM出稿量の増加

■ ソフトバンクモバイル ■ NTTドコモ ■ KDDI/au



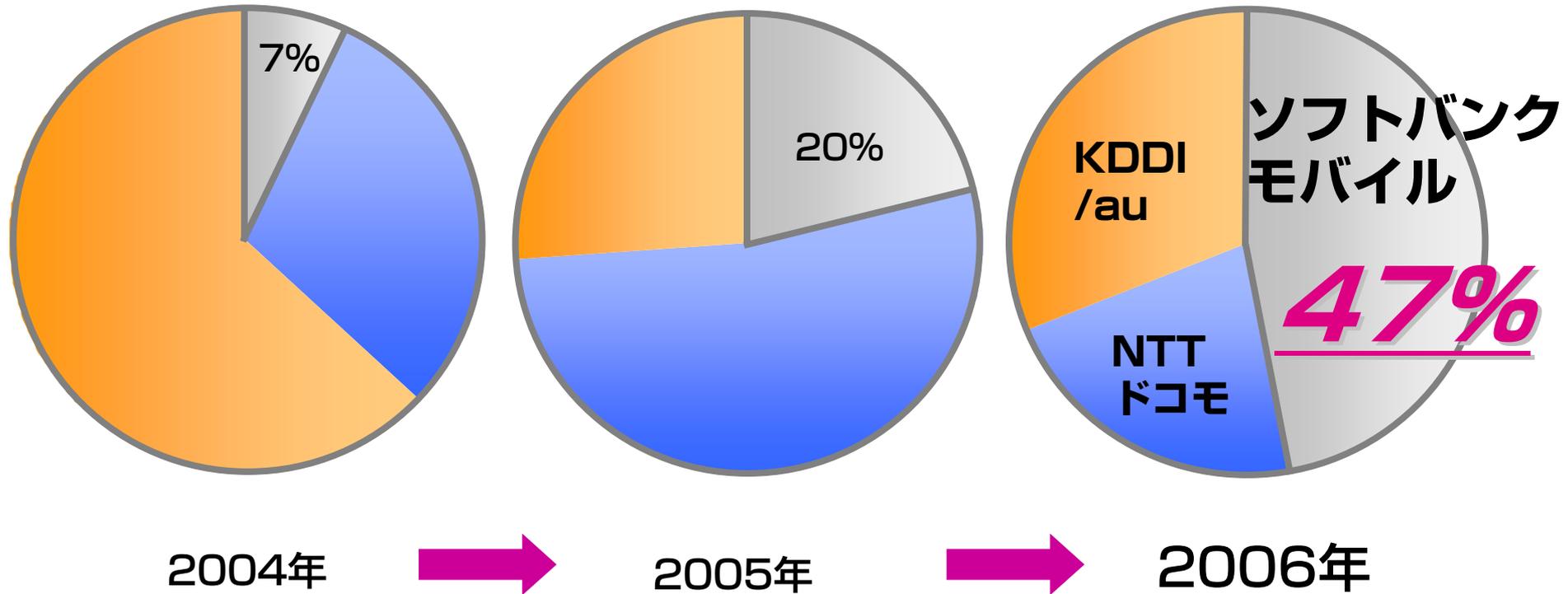
CMの好感度はさらに急増

ソフトバンクモバイル
 NTTドコモ
 KDDI/au



試用意向も急増

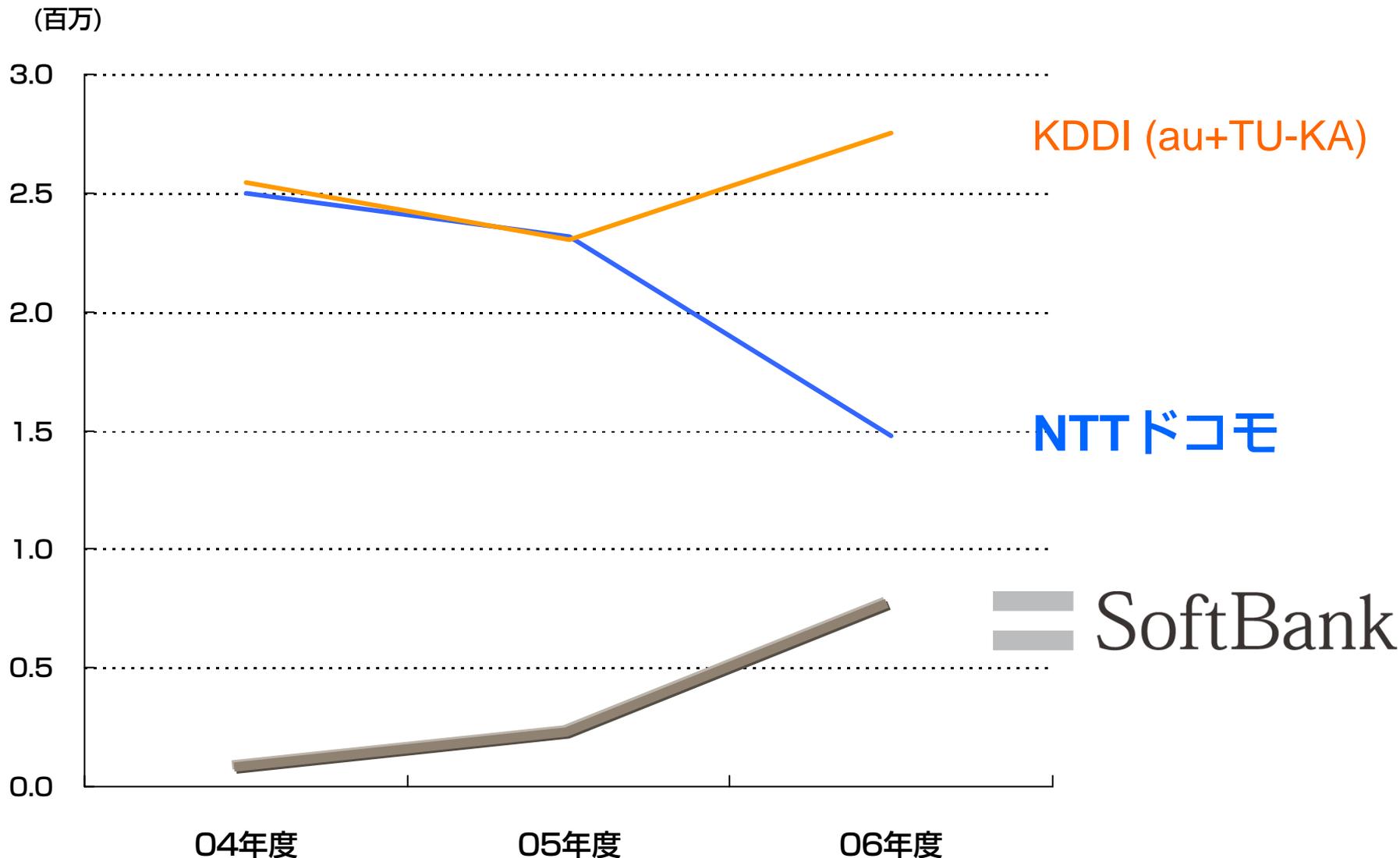
ソフトバンクモバイル
 NTTドコモ
 KDDI/au



出典：各年度第3四半期（10月～12月）において；CMデータバンク／CM総合研究所

純増契約数（年間）

SoftBank



※各社発表資料より

営業活動を強化

営業体制の拡充

量販店

権利上の都合により
ご覧いただけません

法人



獲得数
大幅増

権利上の都合により
ご覧いただけません

ショップ

権利上の都合により
ご覧いただけません

併売店

新規獲得シェア

量販店では全体を上回る獲得シェアを記録

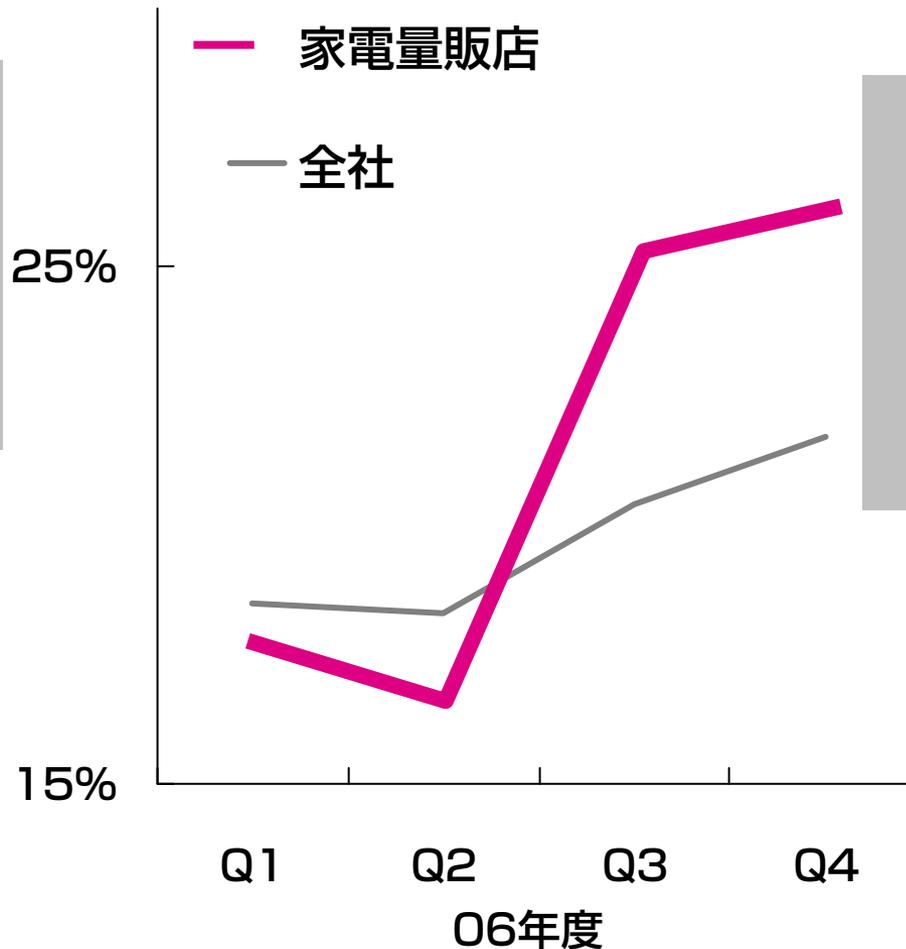
新規獲得シェア（数量）

1年前

現在

権利上の都合により
ご覧いただけません

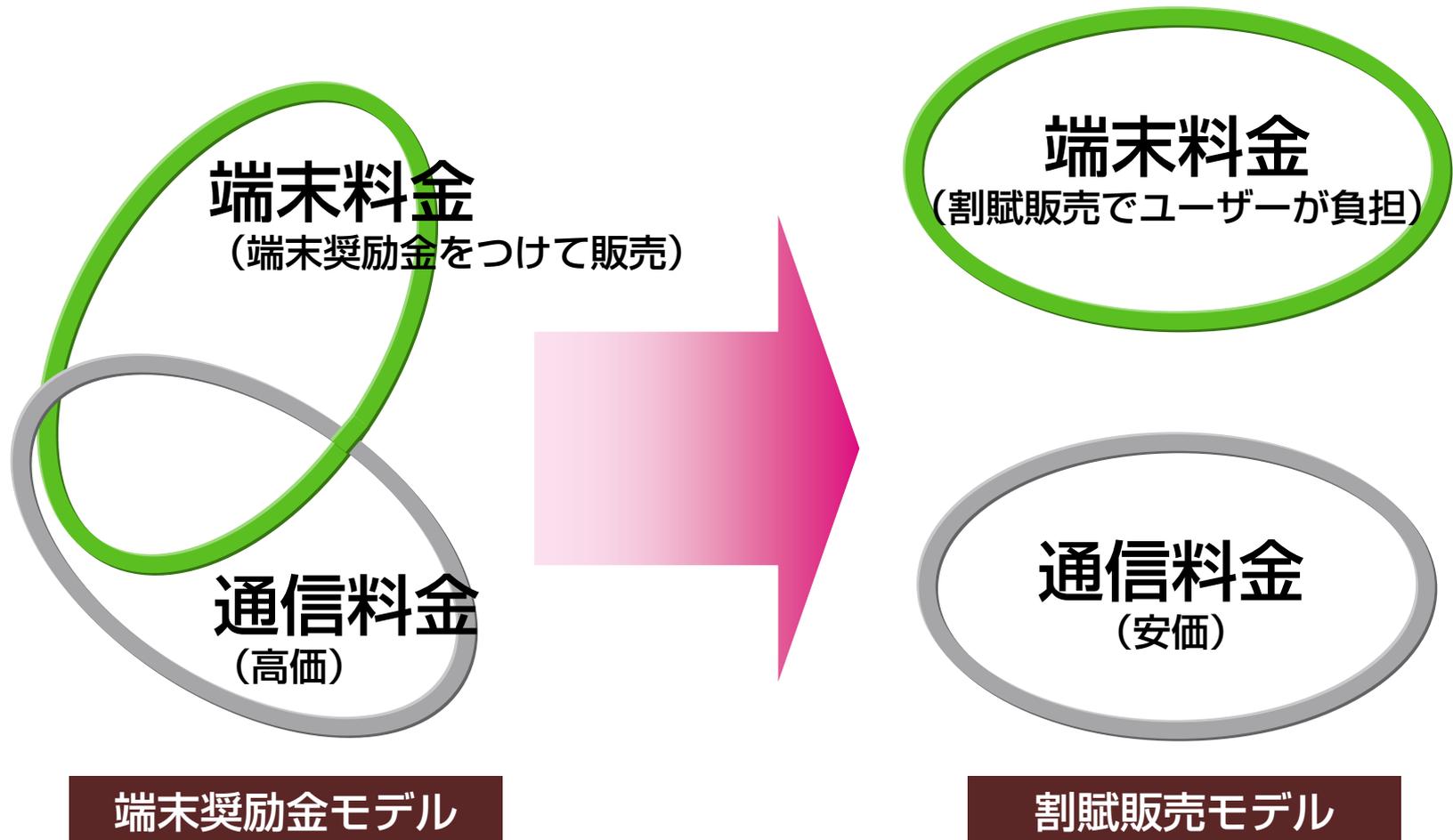
権利上の都合により
ご覧いただけません



端末の割賦販売制度の導入

端末の割賦販売制度を導入

端末料金と通信料金とを分離

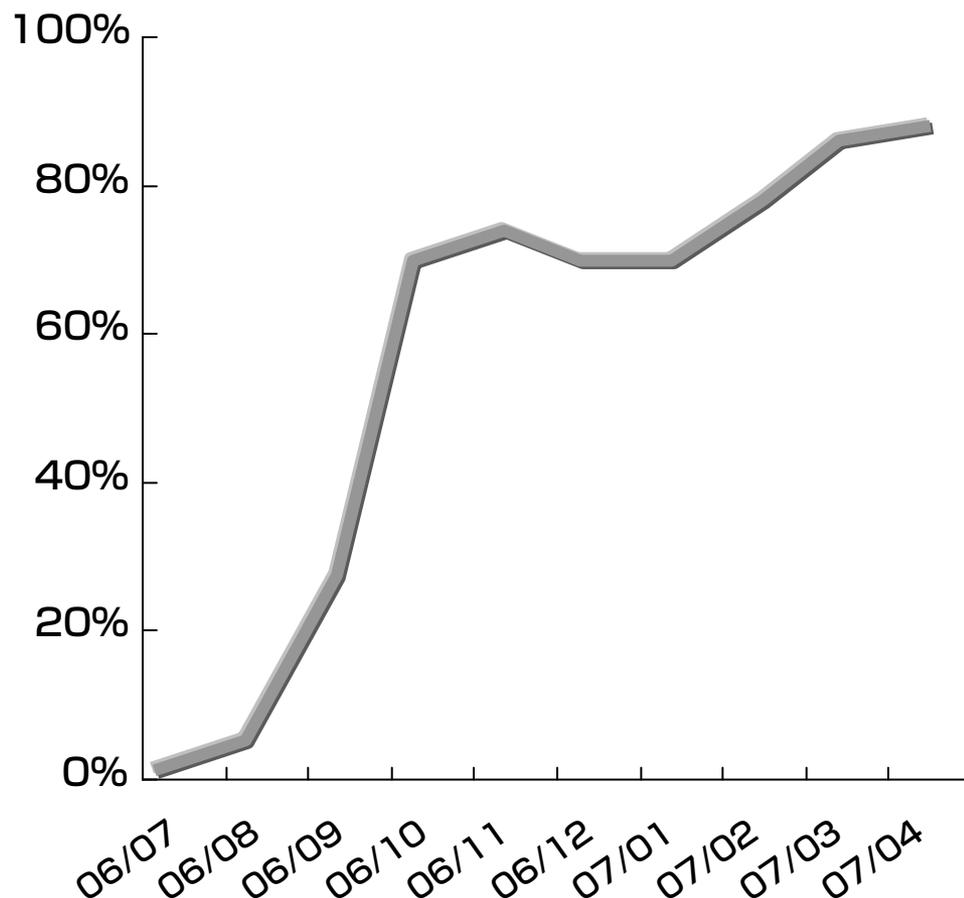


割賦契約者＝長期安定ユーザーの獲得



直近では全体契約（新規・買換）の80%超が割賦販売を選択

端末割賦販売契約比率



解約率の低減



将来収益の改善へ

端末の割賦販売制度を導入

総務省
「モバイルビジネス研究会」

検討課題

端末奨励金

SIMロック

MVNO



 SoftBank

割賦販売制度を導入

端末奨励金の見直し

**いち早く業界の将来を
見据えたモデルを導入**

新料金プランを導入

ホワイトプラン

通話料
(30秒あたり)

¥21

+

基本料
(月額)

¥980

**ソフトバンク同士の
国内通話無料
1時~21時**

Wホワイト

通話料
(30秒あたり)

¥10.5

+

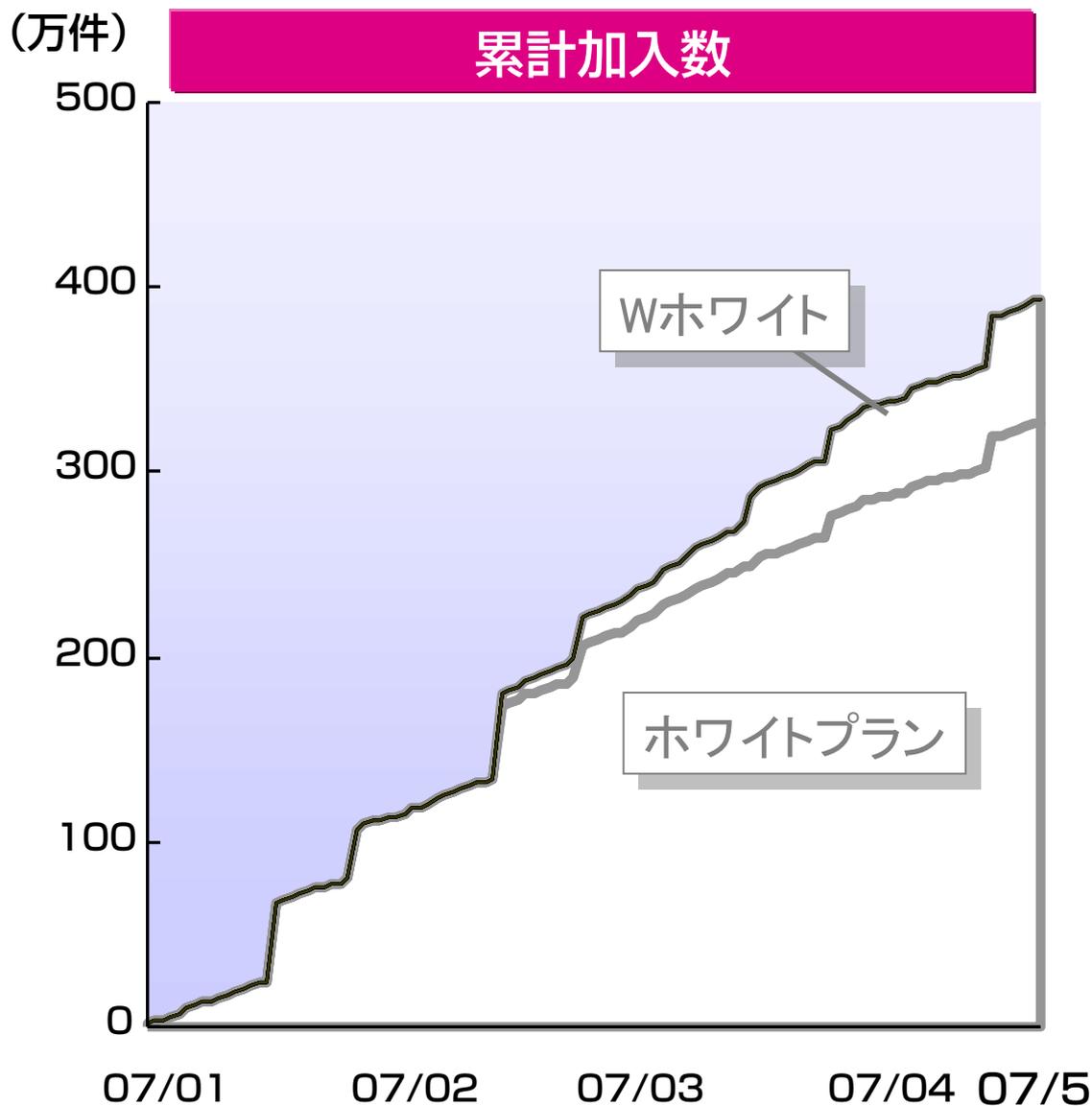
他社への通話料が半額

**ソフトバンク同士の
国内通話無料
1時~21時**

基本料
(月額)

¥980
¥980

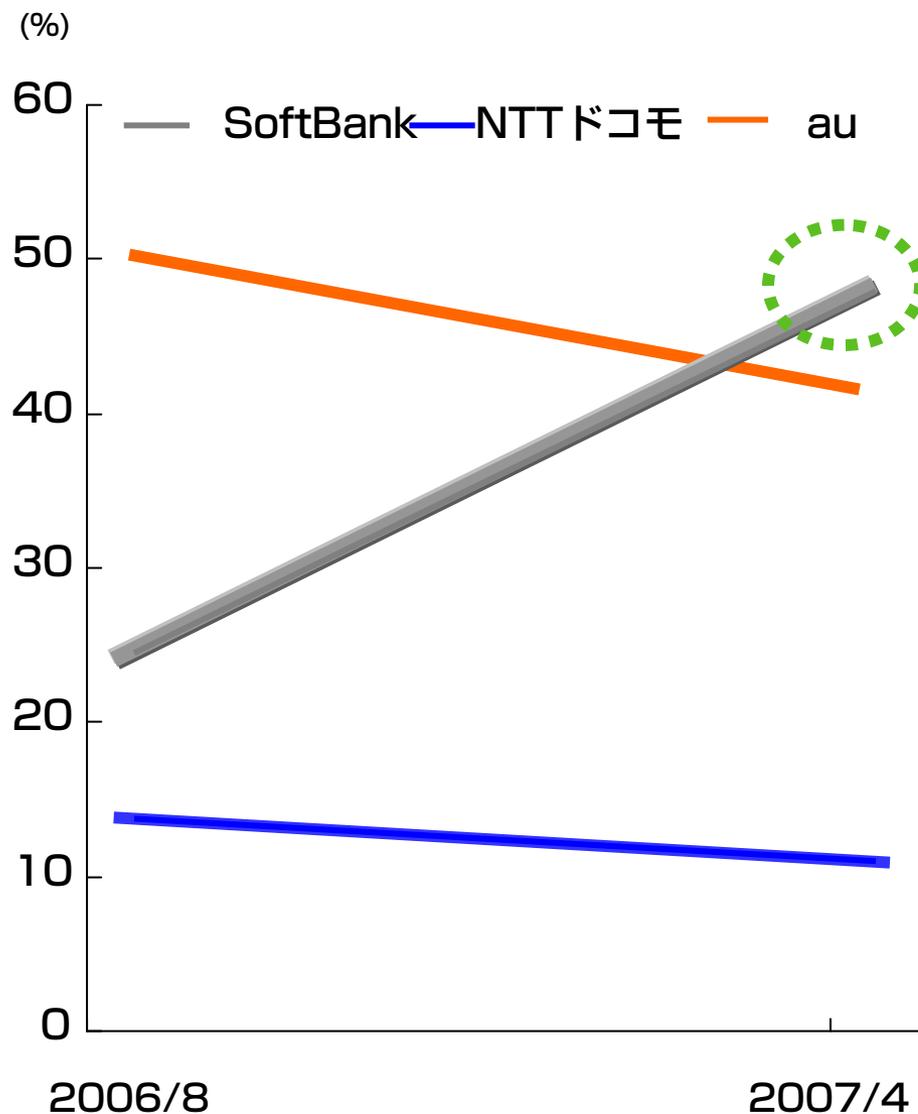
ホワイトプランの大成功



開始後4ヶ月弱で

400万件を獲得
(未適用含む)

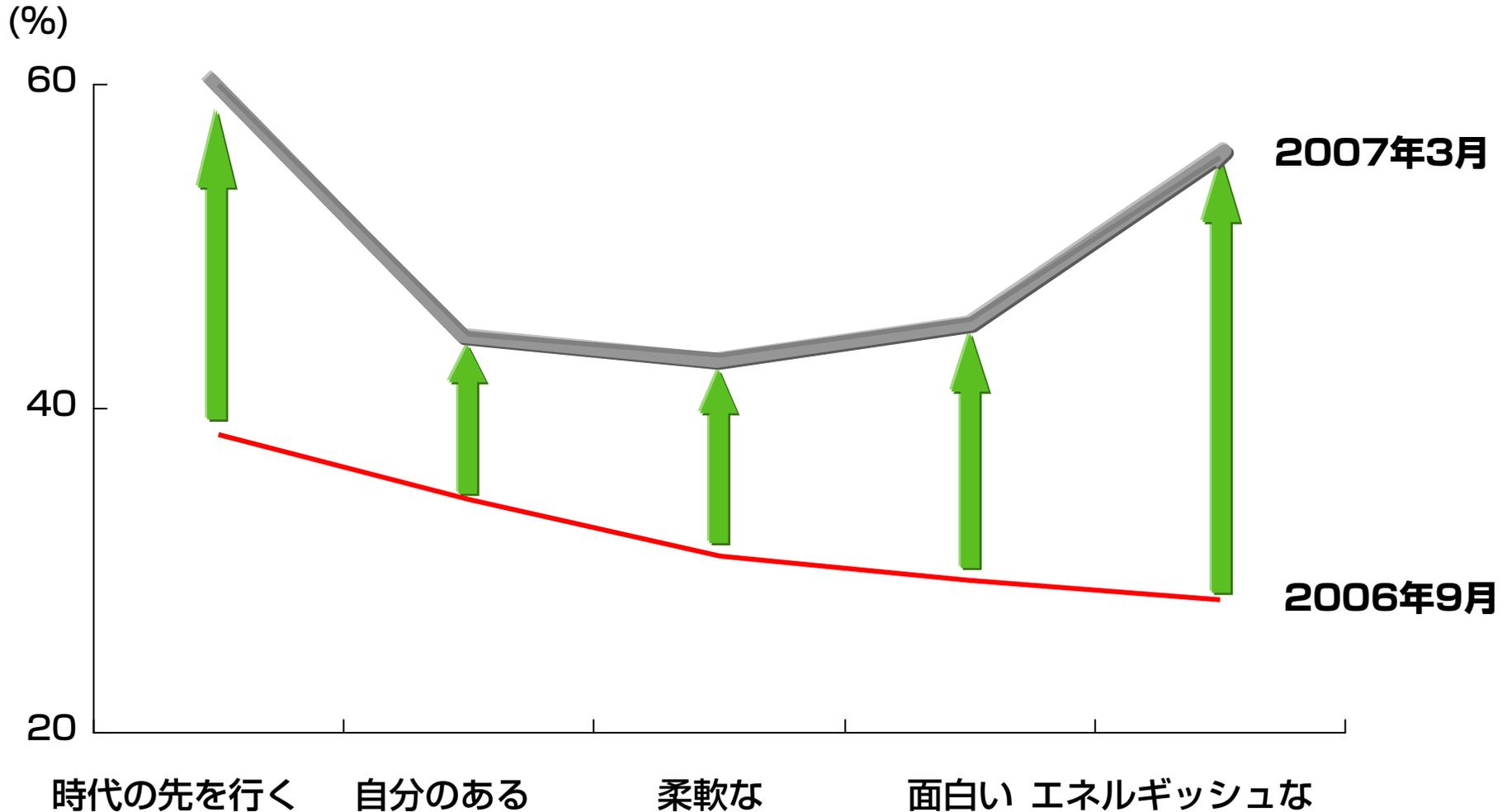
料金イメージ評価



ホワイトプラン開始後、
料金イメージでは
他社を逆転

出典: 第三者機関調査による調査

「時代の先を行く」イメージを獲得

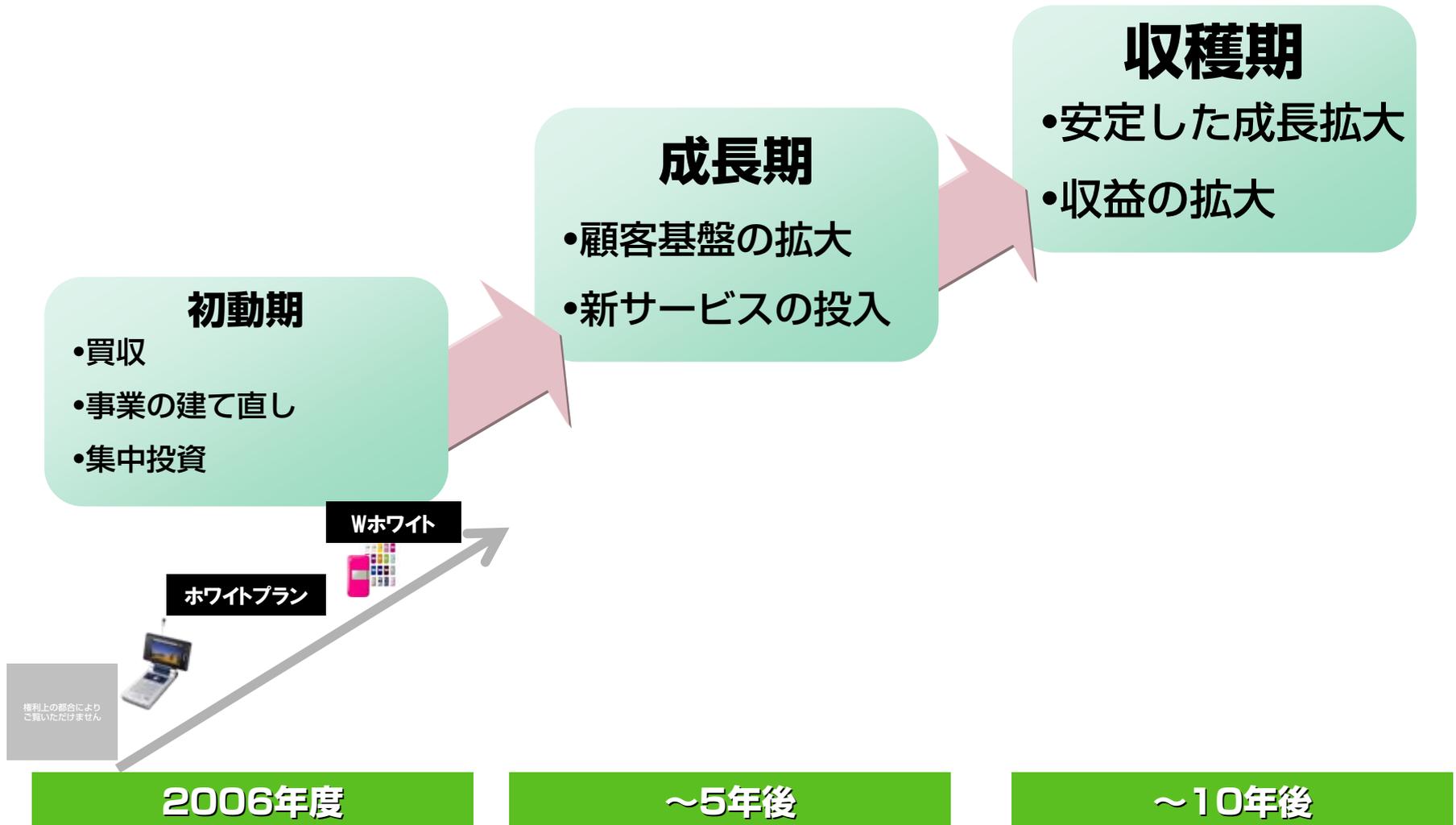


出典: 第三者機関調査による調査

事業ロードマップ

2007年度からのフェーズ

建て直し期から、成長期へ

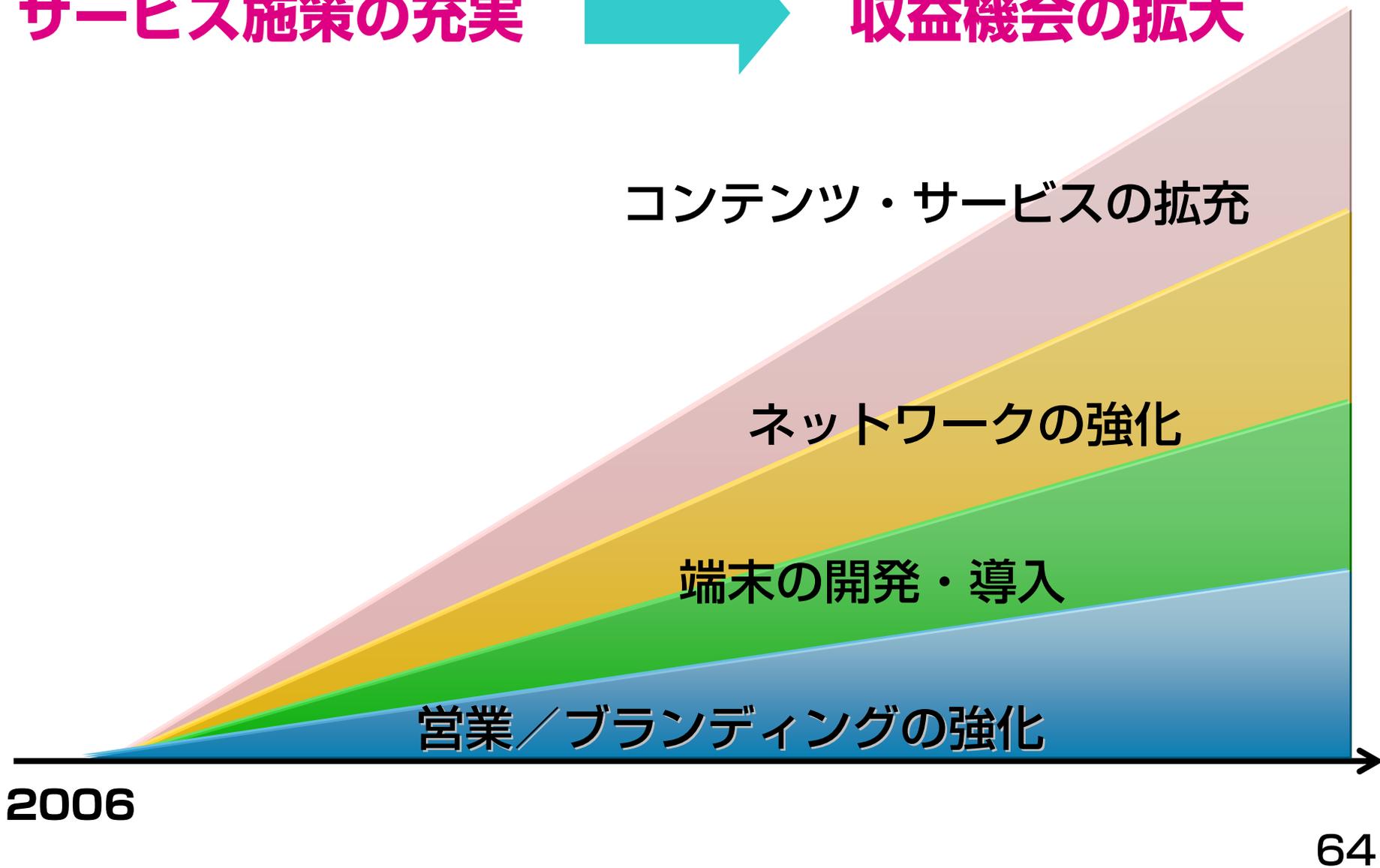


ロードマップ

サービス施策の充実



収益機会の拡大



グループシナジーのさらなる追求 SoftBank

ネットワークの効率化

 SoftBank Telecom

 SoftBank BB  SoftBank

営業体制の強化

量販店 ショップ 

権利上の都合により
ご覧いただけません

 SoftBank

顧客基盤の活用

 SoftBank Telecom

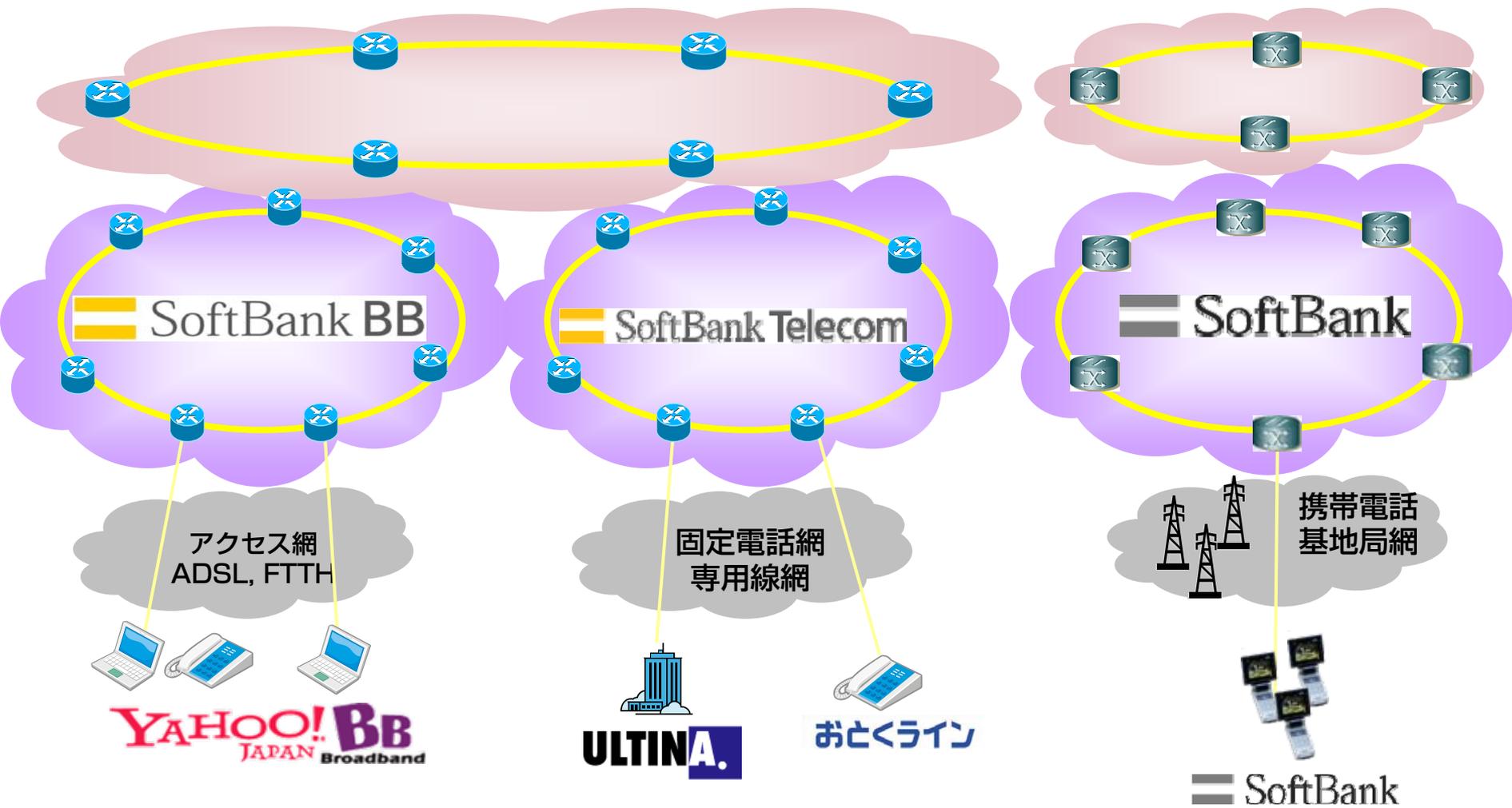
  SoftBank

コンテンツの拡充



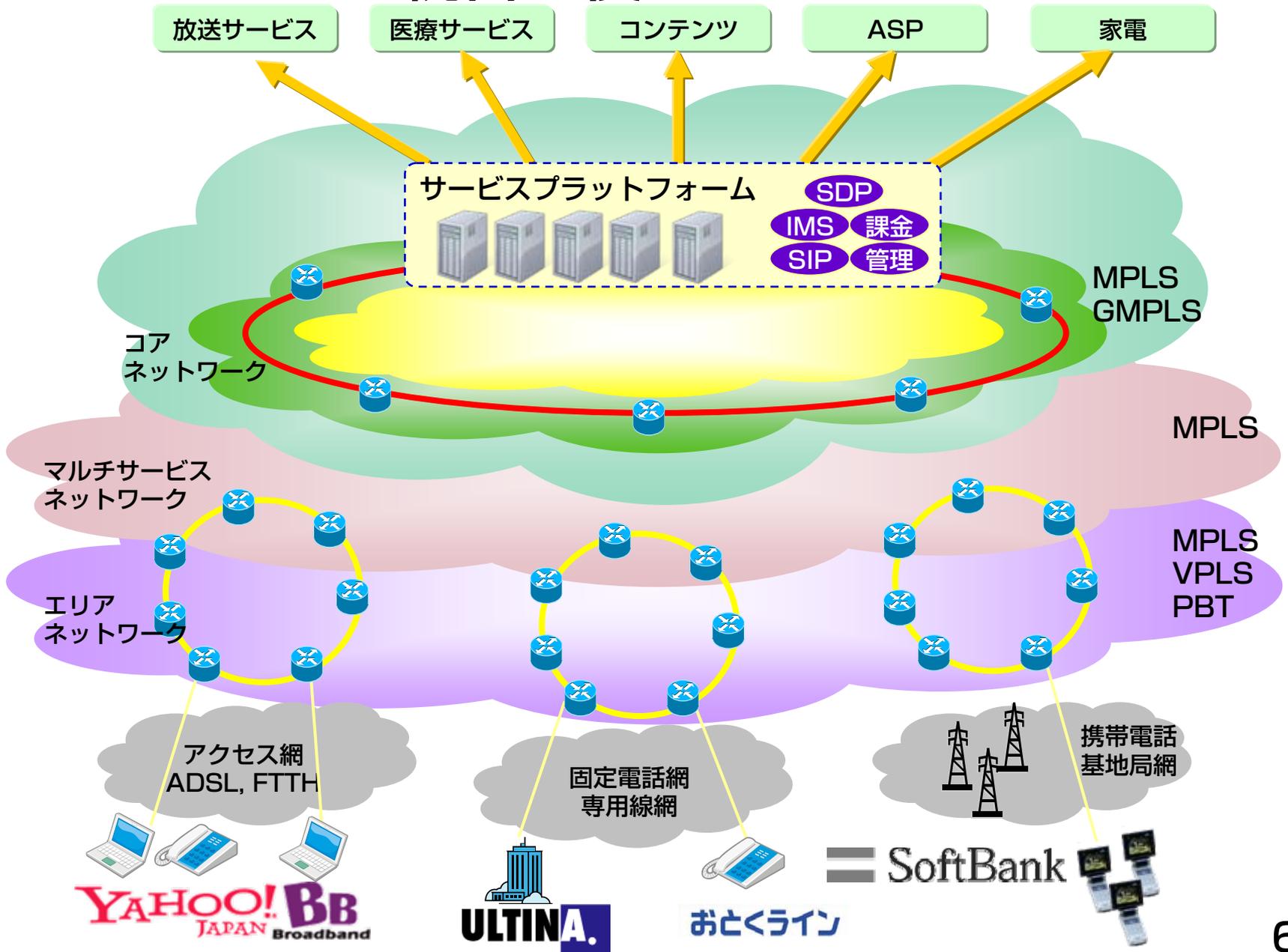
ネットワークの統合：前

SoftBank



ネットワークの統合：後

SoftBank



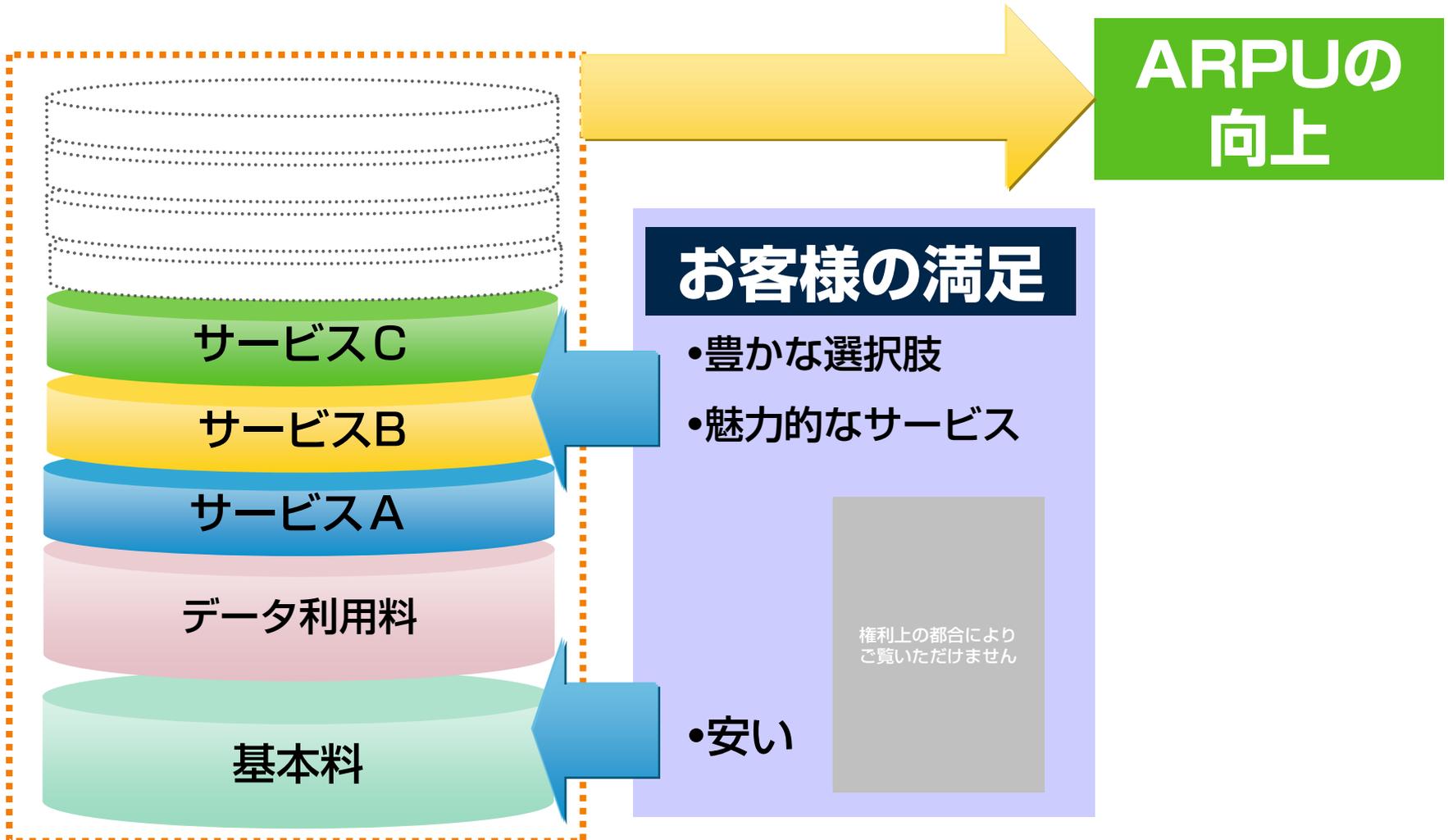
2007年5月22日

新端末発表

ARPU戦略

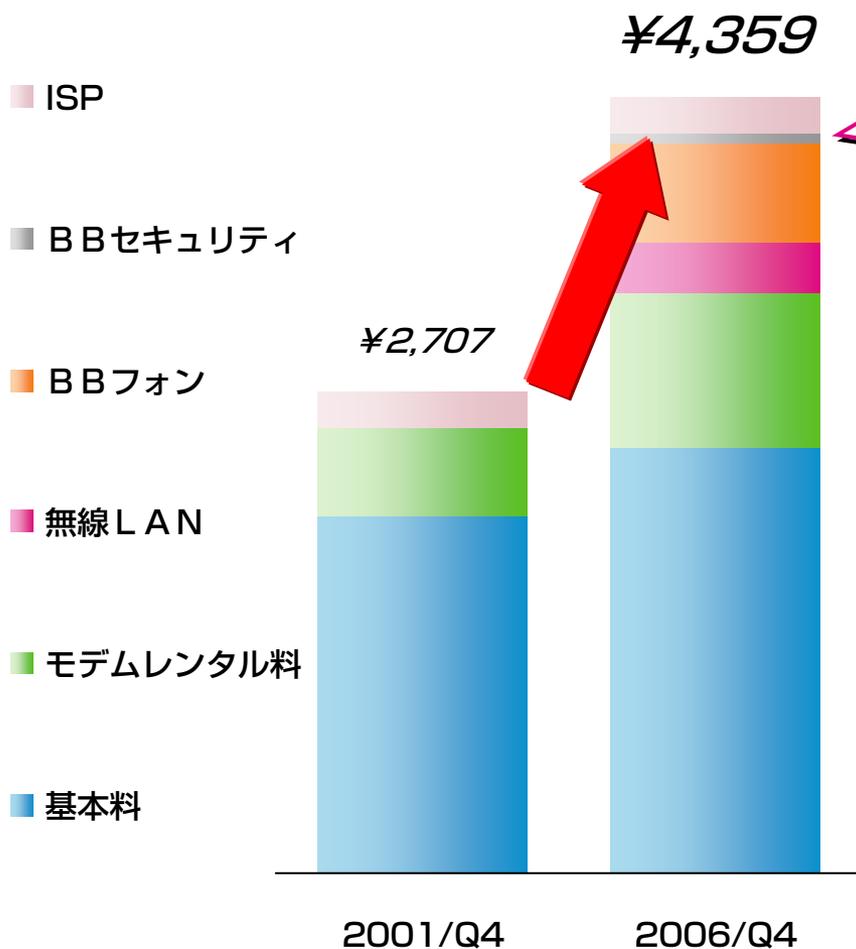
ソフトバンクのARPUの考え方

お客様の満足あつてのARPU向上



Yahoo! BB ADSLでの実績

ARPUの増加



追加サービス料金

付加価値の高いサービスの提供

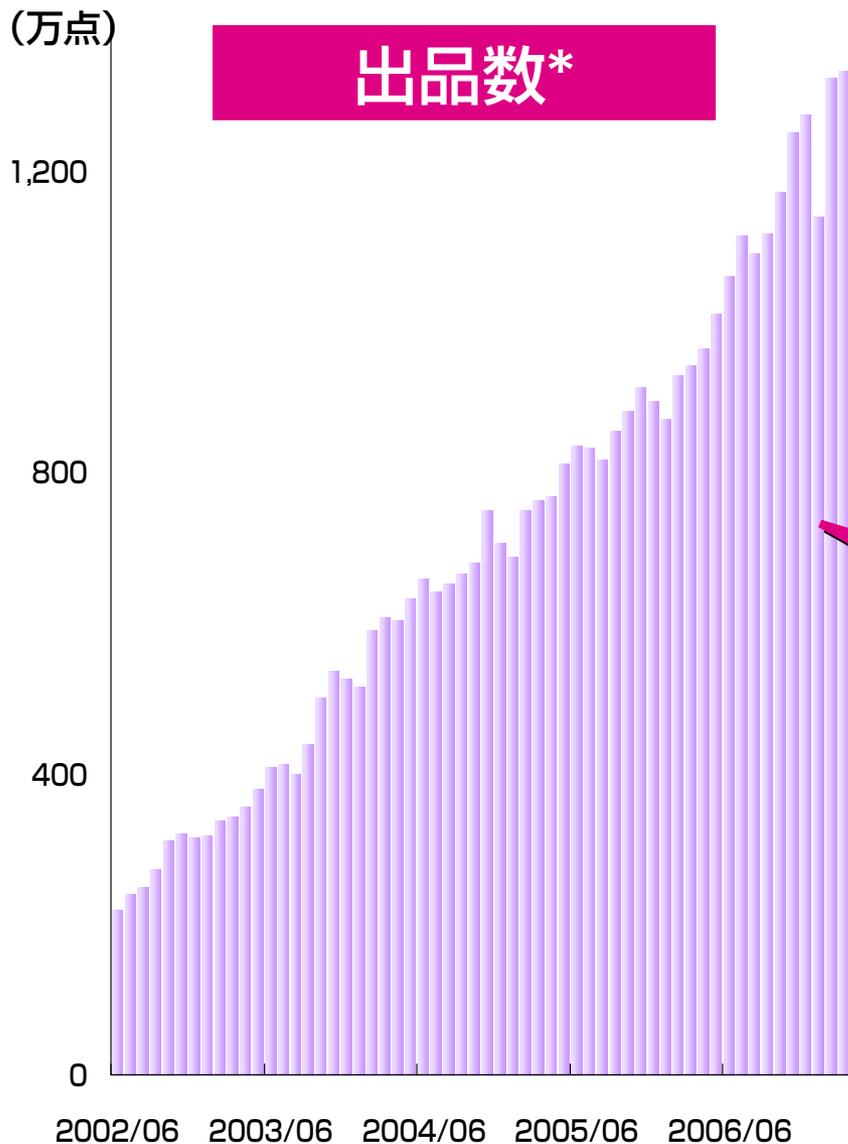


基本料金・ モデムレンタル料金

高速サービスの提供



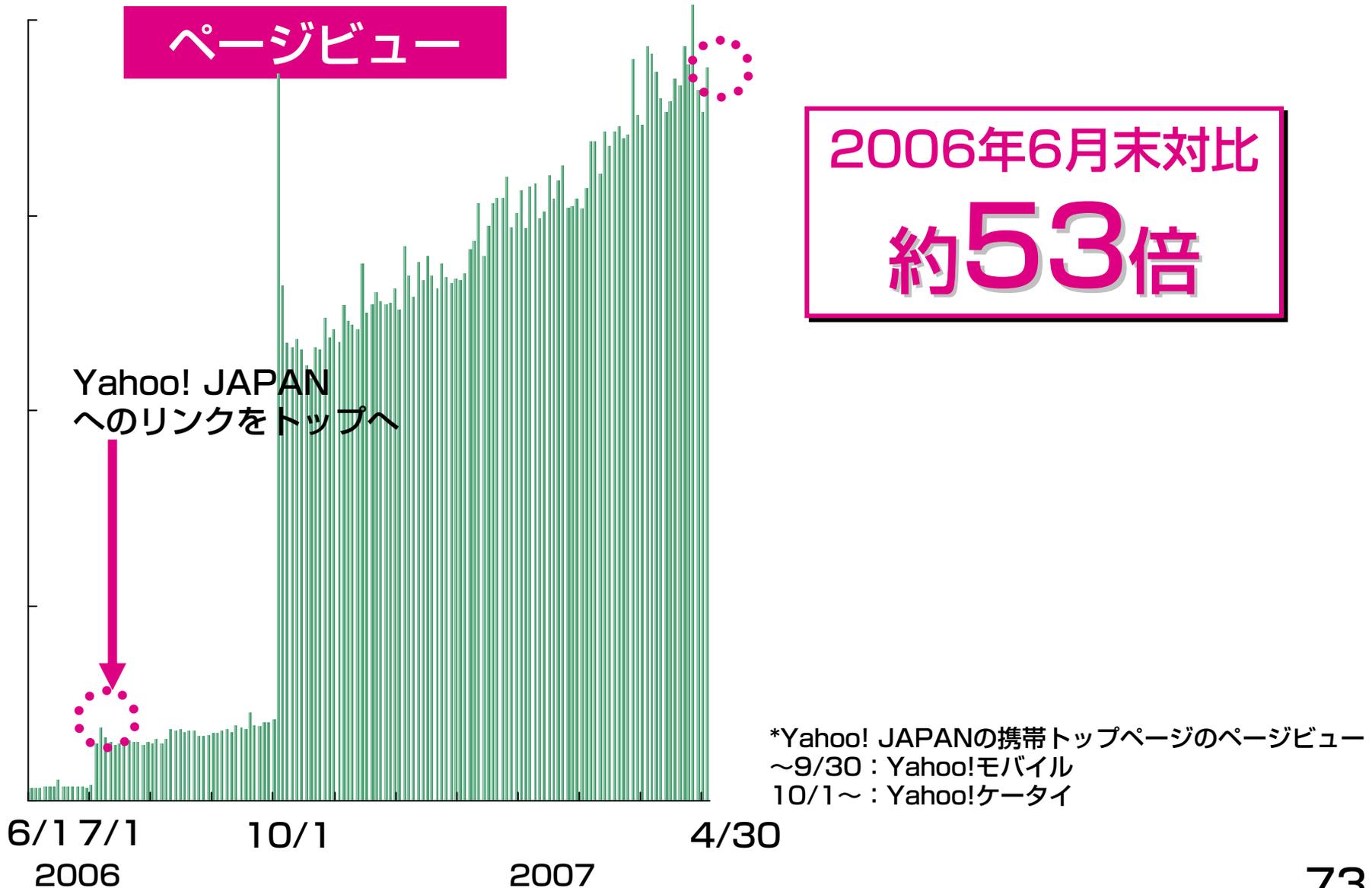
Yahoo!オークションでの実績



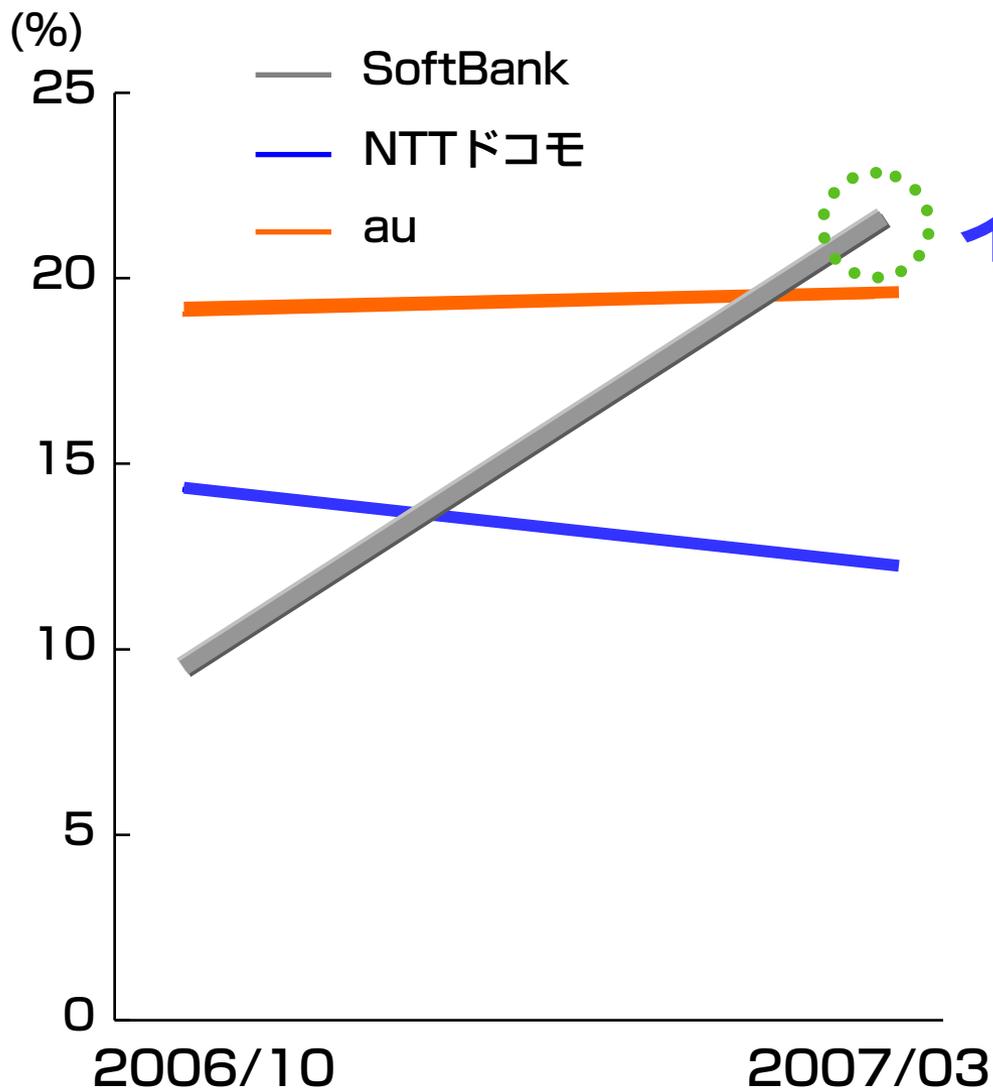
トラフィックは
収益の大きな基盤

2006年度 ヤフー(株)
「Yahoo!オークション」を含む
コマース取扱総額：
約9,000億円

※各月間の総出品数の1日平均



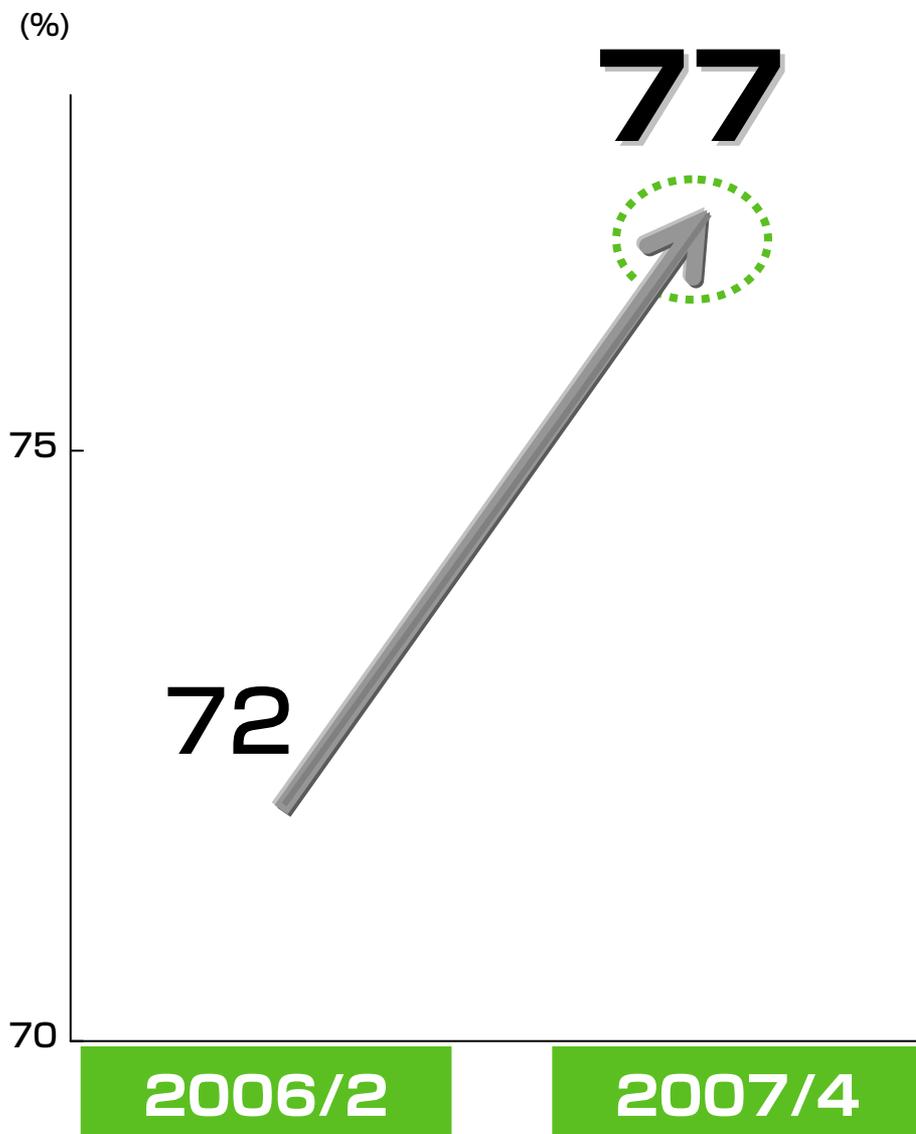
インターネットに強いイメージ



インターネットサービス
に強いイメージで
他社を抜き去る

出典: 第三者機関調査による調査

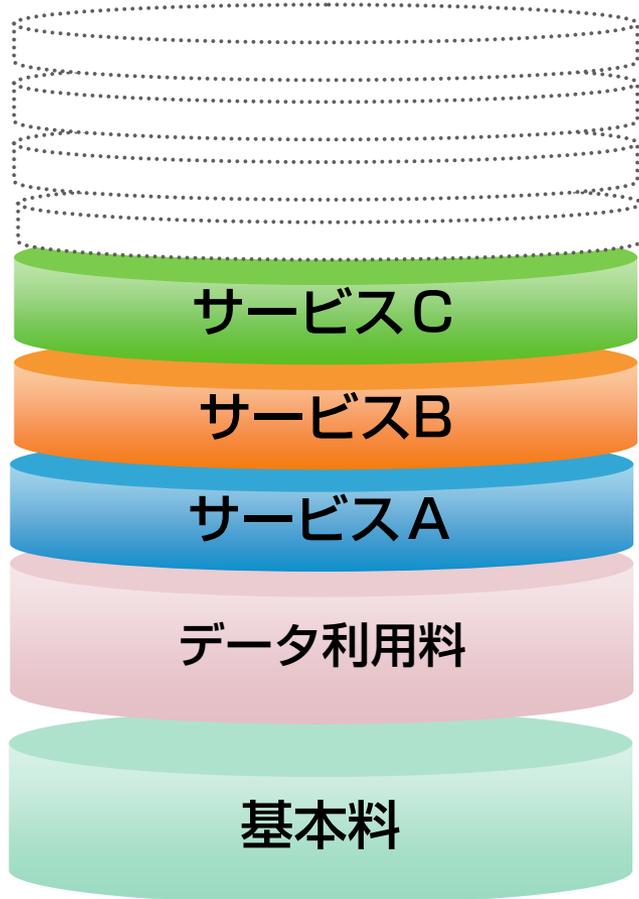
継続利用意向



継続利用意向は
5ポイント上昇

出典：第三者機関への委託調査による結果

グループの総合力でARPUの向上を目指す SoftBank



SoftBank Creative

TVBank Mector E-BOOK Alibaba.com

サイバー大学 Cyber University sportsnavi ITmedia 淘宝网 Taobao.com

11UP BBTV Odds Park Club iT 株式会社 セキュリティ

PC JAPAN myspace.com YAHOO! JAPAN 動画 SoftBank Technology DeeCorp

CJ Internet Japan SoftBank HAWKS BARKS GungHo OfmyNews

YAHOO! JAPAN ショッピング YAHOO! JAPAN オークション

SoftBank Payment Service YAHOO! JAPAN BB Broadband

SoftBank ULTIMA.

ソフトバンクの主戦場



コンテンツ



ポータル



インフラ

他社

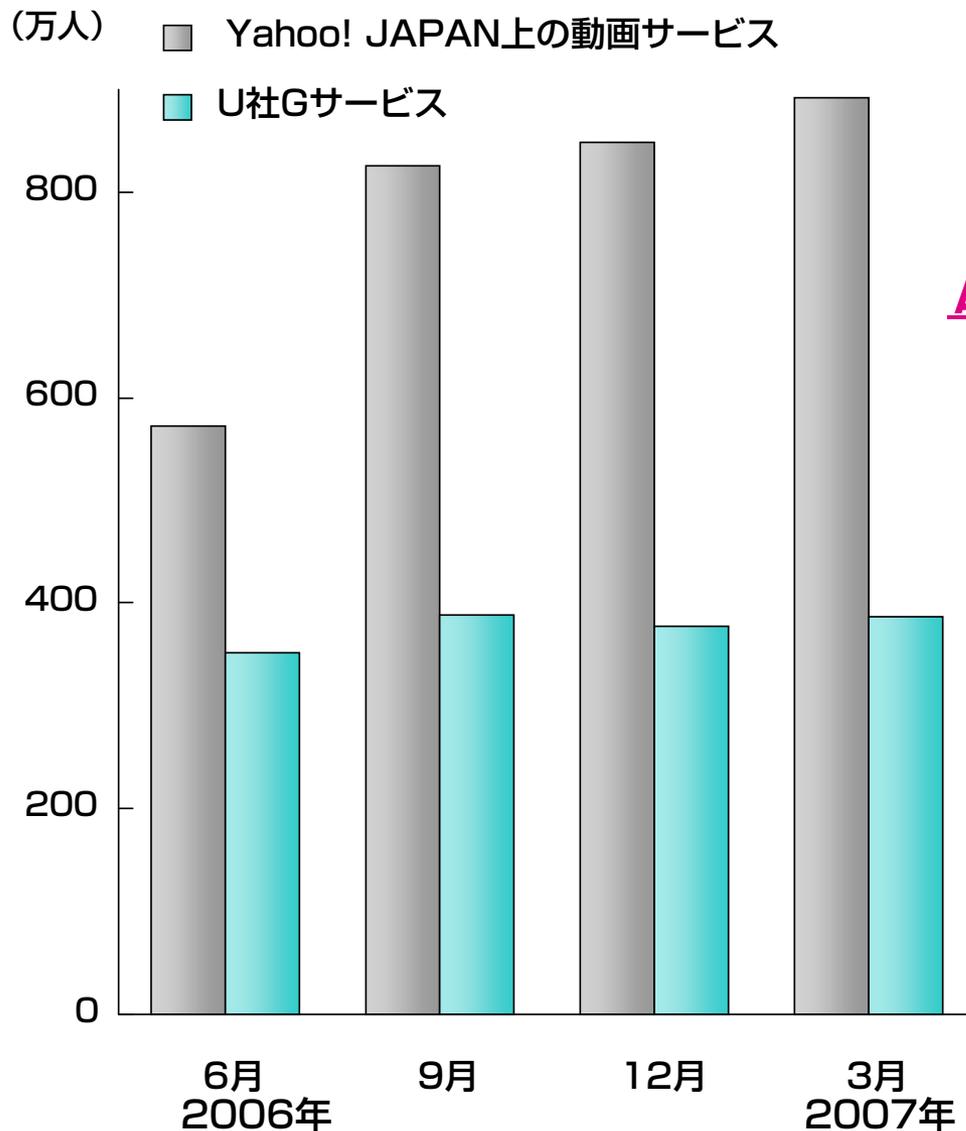
他社



“楽しい” インターネット：動画



ユニークユーザー数推移



日本の動画サービスで *No. 1*
ユニークユーザー数

892.4万
(07年3月末)

出所：ネットレイティングス調べ
家庭からのアクセス

* Yahoo!動画、Yahoo!映画、
Yahoo!ニュースなど



「Yahoo! 動画」でパ・リーグ4球団の主催試合を無料でライブ配信！

プロ野球のライブ配信サービスで最も充実したラインナップを実現

福岡ソフトバンクホークス



北海道日本ハムファイターズ

権利上の都合により
ご覧いただけません

権利上の都合により
ご覧いただけません

千葉ロッテマリーンズ

権利上の都合により
ご覧いただけません

東北楽天ゴールデンイーグルス

権利上の都合により
ご覧いただけません

多人数同時動画配信システムが高い評価



コストメリットに優れた配信技術として、
国内外のコンテンツ配信に採用

権利上の都合により
ご覧いただけません

権利上の都合により
ご覧いただけません



権利上の都合により
ご覧いただけません

権利上の都合により
ご覧いただけません

権利上の都合により
ご覧いただけません

権利上の都合により
ご覧いただけません

無料ライブ配信

24時間放送

※日本国内限定での配信を開始

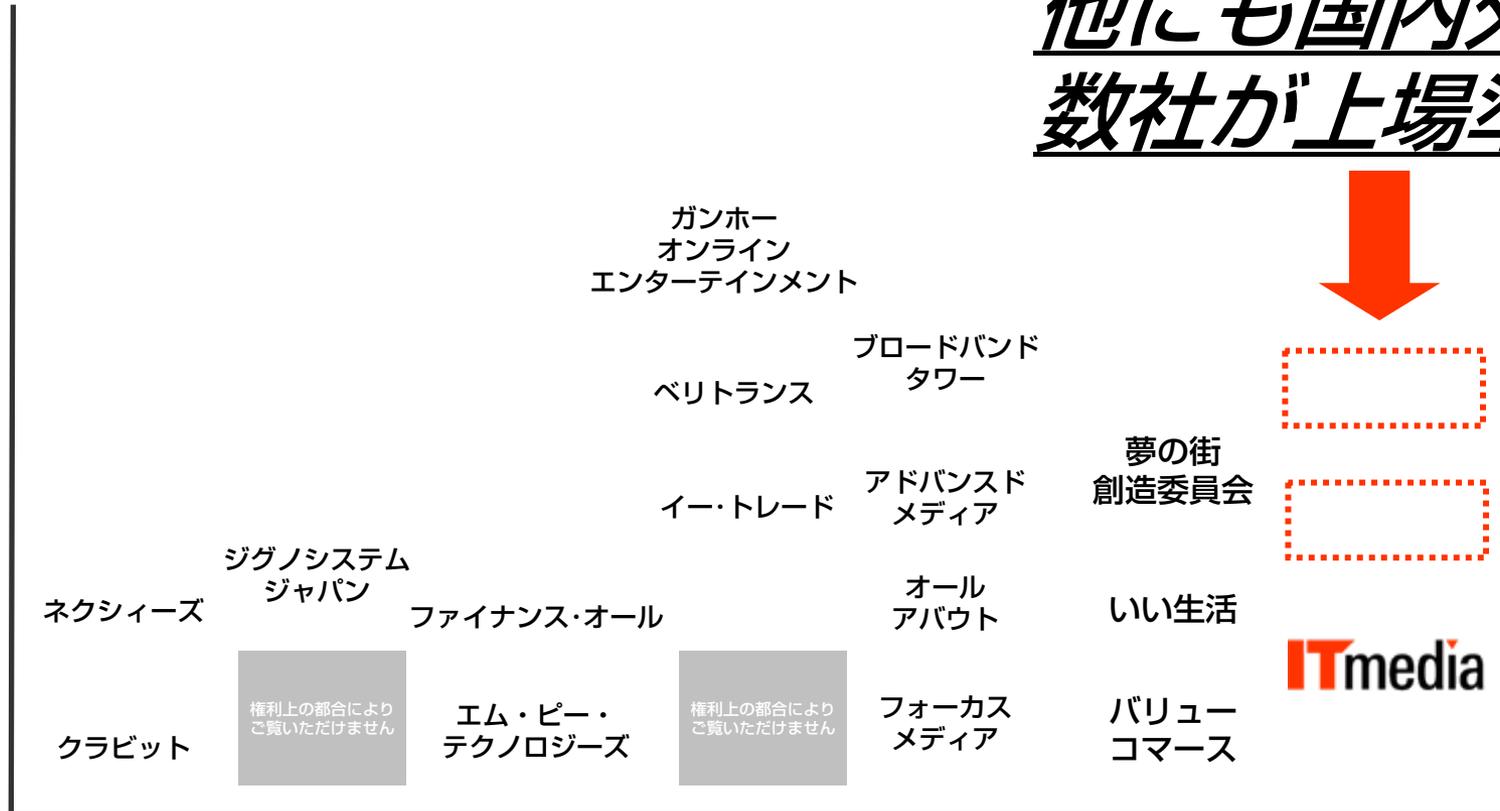
韓国内での
テスト配信に採用

主な投資先企業IPO実績

ITmedia

2007年4月19日 東証マザーズ上場

他にも国内外で
数社が上場準備中



01年度

02年度

03年度

04年度

05年度

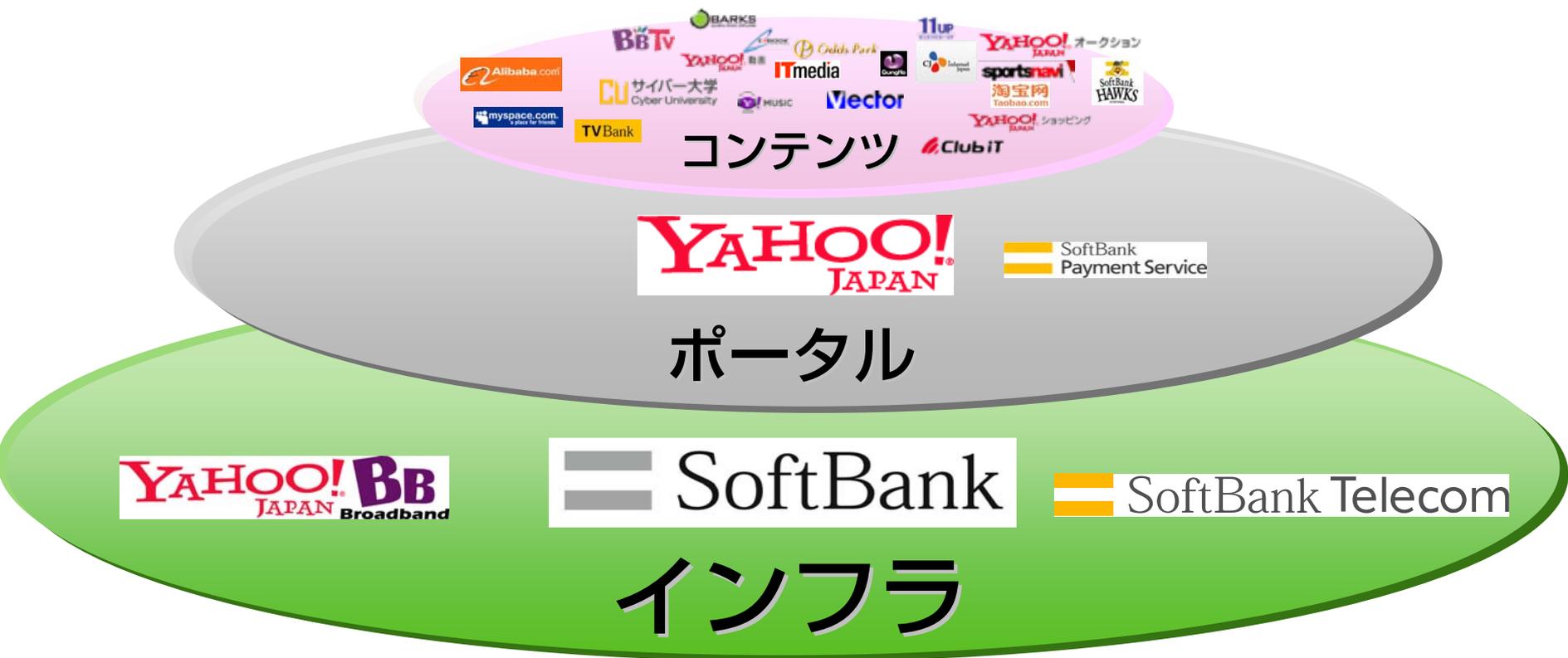
06年度

07年度

収益源のシフト



現在、大部分はインフラ事業から



収益源のシフト

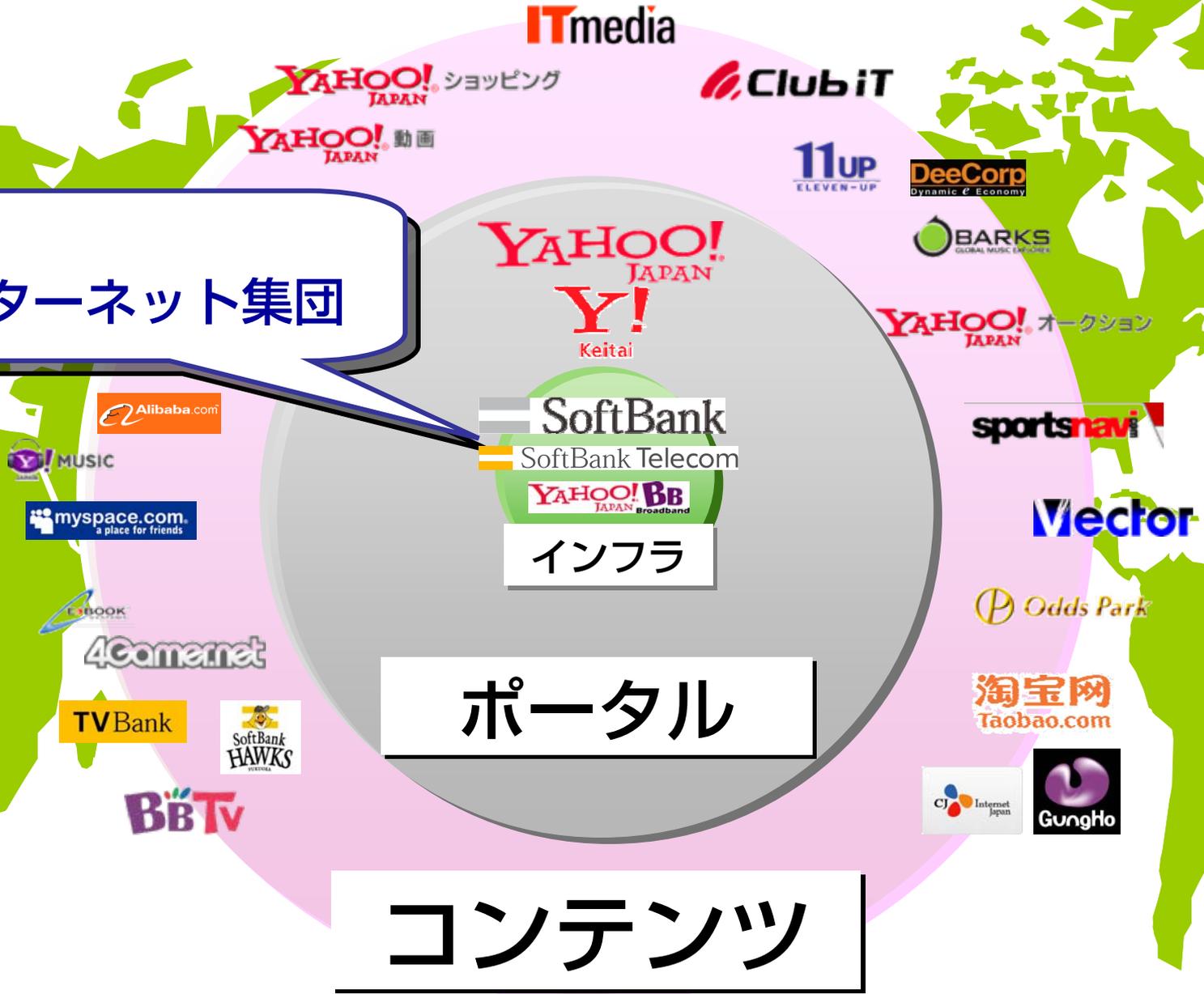
将来は多様なコンテンツ群からの収益が拡大



総合力で事業を牽引

SoftBank

No.1
インターネット集団



日本のケータイを
もっとおもしろくする

 SoftBank

日本のブロードバンドを
もっとおもしろくする

 SoftBank



21世紀のライフスタイル・カンパニー



生活するすべての場所と人に、ブロードバンド環境を提供



ソフトバンクの経営理念



デジタル情報革命を通じて、人々が知恵と知識を共有することを推進し、企業価値の最大化を実現するとともに人類と社会に貢献してゆくことをめざします。



<http://www.softbank.co.jp>

本資料には、当社の中長期的戦略・計画・見通しが含まれております。歴史的事実でないこうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の動向などにともない変化し得る可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えるようお願いします。

参考資料

連結営業外損益(年度)

	FY06 (06年4月～07年3月)	FY05 (05年4月～06年3月)	<当期の内容>
受取利息	33	21	
持分法による 投資損益	21	95	
支払利息	△795	△270	ポ-ダフォン買収関連 △474
その他 (ネット)	△436※	△194	※ ポ-ダフォン買収資金調達手数料： △199 WBS借換手数料：△87
合計	<u>△1,176</u>	<u>△348</u>	

連結当期純利益(年度)

 SoftBank
 <単位：億円>

	FY06 (06年4月～07年3月)	FY05 (05年4月～06年3月)	<内容>
経常利益	1,534	274	
特別損益 (ネット)	551	1,019	前期：投資有価証券 売却益 1,723億円
税金等調整前 当期純利益	2,085	1,294	
法人税、 住民税及び事業税	487	407	主にヤフー
法人税等調整額	936	18	当期：主にソフトバンク モバイル
少数株主利益	373	293	主にヤフー
当期純利益	<u>288</u>	<u>575</u>	

連結業績サマリー（四半期）

 SoftBank

<単位：億円>

	<四半期>		前期比増減
	Q4/FY06 (07年1月～3月)	Q4/FY05 (06年1月～3月)	
売上高	7,218	2,984	+4,234
EBITDA	1,430	549	+880
営業利益	737	343	+393
経常利益	418	297	+120
税金等調整前 当期純利益	316	438	△122
当期純利益	68	397	△328

連結当期純利益(四半期)



<単位：億円>

	Q4/FY06 (07年1月～3月)	Q4/FY05 (06年1月～3月)	<当期の内容>
経常利益	418	297	
特別損益(ネット)	△101	141	除却損：△58
税金等調整前 当期純利益	316	438	
法人税、 住民税及び事業税	△447	112	
法人税等調整額	604	△153	
少数株主利益	91	83	
当期純利益	<u>68</u>	<u>397</u>	

2007年3月期 決算補足資料

(億円未満切捨/売上高：外部顧客に対する売上高)

セグメント名	項目	単位	2004年度				2005年度				2006年度			
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
移動体通信事業 ^(※1) (主にソフトバンクモバイル株)	売上高	億円									2,315	3,503	4,266	4,222
	営業損益	億円									272	293	569	422
	EBITDA	億円									558	736	1,040	879
	営業利益率	%									11.7%	8.3%	13.2%	9.9%
	EBITDAマージン	%									24.0%	20.9%	24.2%	20.6%
	累計契約者数	千契約									15,240	15,307	15,497	15,908
ブロードバンド・インフラ事業 ^(※2) (主にソフトバンクBB株)	売上高	億円	461	497	523	567	610	639	713	709	627	646	653	659
	営業損益	億円	△ 183	△ 163	△ 124	△ 65	△ 44	34	93	123	54	61	77	73
	モデムレンタル事業売却影響額	億円									△ 8	△ 1	△ 5	+ 1
	モデムレンタル事業売却影響額を除いた営業利益	億円									63	63	82	72
	EBITDA	億円	△ 114	△ 105	△ 58	8	30	114	163	181	118	126	154	158
	営業利益率	%	-	-	-	-	-	5.4%	13.1%	17.3%	8.7%	9.4%	11.5%	10.9%
	モデムレンタル事業売却影響額を除いた営業利益率	%									9.4%	9.2%	11.6%	10.2%
	EBITDAマージン	%	-	-	-	1.6%	4.9%	17.7%	22.8%	25.4%	18.7%	19.2%	22.9%	23.3%
「Yahoo!BB ADSL」累積接続回線数	千回線	4,282	4,490	4,658	4,776	4,889	4,972	5,007	5,049	5,089	5,146	5,161	5,164	
固定通信事業 ^(※3) (主にソフトバンクテレコム株)	売上高	億円			816	843	873	815	886	897	818	843	814	844
	営業損益	億円			△ 142	△ 217	△ 140	△ 122	△ 17	29	12	△ 9	△ 26	△ 6
	EBITDA	億円			△ 3	△ 62	△ 18	0	91	142	126	102	89	107
	営業利益率	%			-	-	-	-	-	3.2%	1.4%	-	-	-
	EBITDAマージン	%			-	-	-	0.0%	10.2%	15.4%	14.3%	11.0%	9.5%	10.9%
	直収電話サービス累積接続回線数 ^(※4)	千回線				298	540	683	764	848	1,020	1,077	1,136	1,221
インターネット・カルチャー事業 ^(※5) (主にヤフー株)	売上高	億円	209	225	268	315	344	367	420	422	444	452	494	523
	営業損益	億円	111	110	128	150	164	171	192	212	216	227	250	271
	EBITDA	億円	120	121	140	165	179	188	212	235	239	252	276	293
	営業利益率	%	52.7%	48.8%	47.6%	47.5%	47.6%	46.5%	45.6%	50.3%	48.5%	48.7%	50.0%	51.5%
	EBITDAマージン	%	57.0%	53.4%	52.2%	52.3%	51.9%	51.0%	50.4%	55.6%	53.6%	54.1%	55.2%	55.5%
イーコマース事業	売上高	億円	555	586	614	692	585	651	684	806	558	611	612	785
	営業損益	億円	15	10	14	11	7	8	14	18	14	13	20	18
その他の事業	売上高	億円	101	118	119	119	172	168	168	148	176	201	180	181
	営業損益	億円	△ 13	△ 10	△ 9	△ 24	△ 6	△ 3	△ 37	0	△ 7	5	△ 40	△ 5
イーファイナンス事業 ^(※6)	売上高	億円	144	134	238	214								
	営業損益	億円	39	31	56	69								
(営業利益 消去又は全社)		億円	△ 7	△ 8	2	△ 33	△ 12	△ 12	△ 10	△ 40	△ 20	△ 10	△ 3	△ 35
連結 (合計)	売上高	億円	1,473	1,563	2,580	2,752	2,586	2,641	2,874	2,984	4,942	6,259	7,021	7,218
	営業損益	億円	△ 38	△ 29	△ 75	△ 110	△ 31	75	235	343	543	581	847	737
	EBITDA	億円	60	59	158	162	195	307	447	549	1,043	1,240	1,540	1,430
	営業利益率	%	-	-	-	-	-	2.9%	8.2%	11.5%	11.0%	9.3%	12.1%	10.2%
	EBITDAマージン	%	4.1%	3.8%	6.2%	5.9%	7.5%	11.6%	15.6%	18.4%	21.1%	19.8%	21.9%	19.8%

※1：2006年4月にソフトバンクモバイル株の買収を完了したことにより移動体通信事業セグメントを新設。同社の業績は2006年5月より11ヵ月の連結

※2：2005年12月にモデムレンタル事業を売却したため、モデムレンタル収入等が減少する一方、BBモデムレンタル有と業務委託契約を結ぶことにより手数料収入等が発生。モデムレンタル事業売却影響額は管理会計上の数値に基づくものであり、財務会計上の数値ではありません。

※3：2004年7月に日本テレコム株(現ソフトバンクテレコム株)を買収し、2004年度下期より固定通信事業セグメントを新設。

※4：2004年12月に直収型固定電話サービス「おとくライン」を開始。2006年6月、平成電電株の直収電話サービス事業を譲り受け。

※5：2007年3月期よりソフトウェア取引について「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取扱い」を適用。この結果、当期の売上高が適用前と比べて341億円減少。

※6：2005年3月末にソフトバンク・インベストメント株(現SBIホールディングス株)が連結子会社から持分法適用関連会社に移動したことに伴い、イーファイナンス事業セグメントを廃止。なお2006年8月、SBIホールディングス株の全株式を売却しました。